

第二別館郷土資料館（展示制作委託業務）

図面番号	図 面 名 称
01	表紙、図面リスト
02	特記仕様書01
03	特記仕様書02
04	特記仕様書03
05	特記仕様書04
06	2F 制作範囲図
07	制作区分・仕上げ表01
08	制作区分・仕上げ表02
09	制作区分図（床）
10	制作区分図（壁）
11	制作区分図（天井）
12	展示整備の考え方と方針
13	展示構成リスト01
14	展示構成リスト02
15	展示構成リスト03
16	空間イメージパース
17	2F 全体平面図・動線図
18	2F 展示エリア平面図
19	2F 展示エリア壁仕上げ区分図
20	2F 展示エリア床伏図（建築工事参考図）
21	2F 展示エリア総合天伏図
22	2F 展示エリア天伏図（折り上げ天井・下がり天井）
23	2F 展示室1 断面図
24	2F 展開図1
25	2F 展開図2
26	2F 展開図3
27	2F 展開図4
28	造作・建具プロット図
29	造作図01
30	造作図02
31	造作図03
32	造作図04
33	造作図05
34	造作図06
35	建具表
36	映像音響システム・コンテンツプロット図
37	みのお時空遊覧 システム図
38	みのお時空遊覧 コンテンツ図01
39	みのお時空遊覧 コンテンツ図02
40	イマーシブワイドシアター システム図

図面番号	図 面 名 称
41	イマーシブワイドシアター コンテンツ図01
42	イマーシブワイドシアター コンテンツ図02
43	イマーシブワイドシアター コンテンツ図03
44	イマーシブワイドシアター コンテンツ図04
45	富くじ大舞台 システム図
46	富くじ大舞台 コンテンツ図
47	くらし発見シアター システム図
48	くらし発見シアター コンテンツ図
49	AVラック図
50	模型・造形プロット図
51	模型造形図01
52	模型造形図02
53	模型造形図03
54	模型造形図04
55	模型造形図05
56	模型造形図06
57	グラフィックリスト01
58	グラフィックリスト02
59	グラフィックリスト03
60	サインプロット図
61	グラフィックプロット図
62	サイン図01
63	サイン図02
64	グラフィック図01
65	グラフィック図02
66	グラフィック図03
67	グラフィック図04
68	分電盤図（建築工事参考図）
69	2F展示エリア 照明計画図（建築工事参考図）
70	2F展示エリア 照明容量表（建築工事参考図）
71	2F展示エリア 照明器具リスト（建築工事参考図）
72	2F展示エリア 照明計画図（展示工事）
73	2F展示エリア 照明容量表（展示工事）
74	2F展示エリア 照明器具リスト（展示工事）
75	コンセント図（壁プロット図）
76	パーツ図
77	備品プロット図
78	備品図01
79	備品図02

室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 （展示制作委託業務）	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 01
					図面名称 表紙、図面リスト	整理番号	
					縮尺 －		

業務名称：第二別館改修工事（展示制作委託業務）

I業務概要

1.場所大阪府箕面市船場西3丁目8-22

2.種別・新装・改装・

3.期間・業務仕様書による

4.内容展示改装

5.関連工事（別途工事）建築工事、電気設備工事、機械設備工事、サイン工事

6.対象面積411.7㎡

7.対象階1階及び2階

8.建物用途

II業務仕様

1.標準仕様

(1)図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、下記「公共建築工事標準仕様書」（以下、「標仕」という。）によるが、標仕に記載がない事項は「インテリア工事標準仕様書」（以下、「イ標仕」という。）による。ただし、本業務に関係しない事項は適用しない。また、標準仕様書の優先順位は、1「標仕」、2「イ標仕」の順番とする。

1）国土交通省大臣官房官庁営繕部制定公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版

2）〃〃公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版

3）〃〃公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版

4）インテリア工事標準仕様書委員会インテリア工事標準仕様書

2.共通事項

(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2)特記事項は、◎印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

(3)特記事項に記載の（...）、（イ標仕...）内表示番号は、標仕、イ標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4)図中の「建築工事」は別途工事とする。

章

項目

特記事項

①一般共通事項

①適用基準等

図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。

・国土交通省大臣官房官庁営繕部制定建築工事標準詳細図（令和4年版）

・国土交通省大臣官房官庁営繕部制定公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和4年版）

・国土交通省大臣官房官庁営繕部制定公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和4年版）

・国土交通省大臣官房官庁営繕部制定営繕工事写真撮影要領（令和3年版）

(1.1.2)

②用語の定義

「監督職員」とは契約書に規定する監督職員、監督員又は監督官をいう。

監督職員は、本特記仕様書記載事項に基づき現場代理人に対して承諾、指示、協議、検査等を行なう。

「受注者」とは当該契約の受注者、受託者又は請負者をいう。

(1.1.7)

③関連工事との取合い

施工図・施工計画書などの作成に際し、関連工事との取合い・収まりなどについて十分調整する。

(1.3.2)

④施工管理技術者

施工管理技術者は、展示の各業務について高度の知識、経験を有する者とし、予め履歴書、経歴書を監督職員に提出する。

(1.3.11)

⑤発生材の処理等

※構外搬出適切処理・現場説明書による

(1.4.2)

⑥材料等

本業務に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するもの、またはこれと同等の品質及び性能などを有する新品とするとし、同等のものなどを使用する場合は、監督職員の承諾を得る。

⑦化学物質を放散する材料等

本業務に使用する合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上塗材、壁紙及び接着剤は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとし、「ホルムアルデヒドの放散量」は次のとおりとする。

ホルムアルデヒド放散量	該当する材料
規制対象外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b.接着剤等不使用 c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d.ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

8特別な材料の工法

9技能士

⑩現況調査

(イ標仕1.2.1)

調査範囲	調査事項
・躯体	・躯体位置、間仕切位置
・内装仕上げ	・現状老朽破損箇所・関連する下地仕上げの状態
・解体撤去対象物	・設置状況
・防災設備	・排煙設備位置・自火報位置・消火設備位置
・電気設備	・関連する分電盤の回路・コンセント位置・スイッチ類位置
・機械設備	・スイッチ類位置・機器設置状況

(1.5.9)

対象化学物質の室内濃度を下記の方法で測定し、測定結果をとりまとめ監督職員に提出する。

・健康に影響を及ぼす恐れのある化学物質の測定

対象化学物質	室内濃度指針値(25℃換算)*	採取方法→分析方法
・ホルムアルデヒド	100μg/m3(0.08ppm)	ジニトロフェニルヒドラジン誘導体面相吸着/溶媒抽出法→高速液体クロマトグラフ法
・トルエン	260μg/m3(0.07ppm)	固相吸着/溶媒抽出法 固相吸着/加熱脱着法 容器採取法のいずれか →ガスクロマトグラフ/質量分析法
・キシレン	200μg/m3(0.05ppm)	
・パラジクロロベンゼン	240μg/m3(0.04ppm)	
・エチルベンゼン	3,800μg/m3(0.88ppm)	
・スチレン	220μg/m3(0.05ppm)	

測定箇所数	展示室内	1ヶ所	測定箇所は監督職員の指示による。	
		ヶ所		
測定時間	吸引方式（アクティブ法）：30分間×2回以上 拡散方式（パッシブ法）：8時間以上			
測定時期	◎現場作業前及び完成時・完成時・その他（）			

*：厚生労働省「シックハウス（室内空気汚染）問題に関する検討会 中間報告書—第23回までのまとめ」（平成31年1月）による。

・展示資料に影響を及ぼす恐れのある化学物質の測定（検知管法）

対象化学物質	管理目標値(22℃換算)*1	測定方法	
有機酸（酢酸）	430μg/m3(170ppb)以下	検知管法*2	
アンモニア	22μg/m3(30ppb)以下		
測定箇所数		ヶ所	測定箇所は監督職員の指示による。
		ヶ所	
測定時期	※現場作業前及び完成時・完成時・その他（）		

*1：（独）国立文化財機構東京文化財研究所「美術館・博物館のための空気清浄化の手引き」（平成31年3月改訂版）の「空気質の“のぞましい値”」による
*2：光明理化学工業 北川式ガス検知管 910有機酸・900美術館用アンモニア と同等とする

⑪化学物質の濃度測定

⑫完成図等

完成時の提出図書：

◎完成図・完成写真・保全に関する資料・その他（）

提出部数：◎完成図1部・完成写真1部・その他（）

完成図は設計図を完成時の状態に修正したものとする。

完成写真の著作権は受注者又は受注者からの委託者に帰属し、発注者の利用範囲は提出時に発注者と受注者にて協議し決定する。

※利用できる（ただし、完成時に完成図データとして提出すること）

・利用できない

13設計CADデータ

②仮設

①監督職員事務所

②請負者事務所等

③工事用水

④工事用電力

3解体・撤去

1適用範囲

2解体・撤去

3再利用品

④展示造作

①木工材料

②合板類

3集成材等

4床板張り

⑤あと施工アンカーボルト・ホールインプラグ・ねじ類

(1.7.2～3)

完成時の提出図書：

◎完成図・完成写真・保全に関する資料・その他（）

提出部数：◎完成図1部・完成写真1部・その他（）

完成図は設計図を完成時の状態に修正したものとする。

完成写真の著作権は受注者又は受注者からの委託者に帰属し、発注者の利用範囲は提出時に発注者と受注者にて協議し決定する。

※利用できる（ただし、完成時に完成図データとして提出すること）

・利用できない

(2.3.1)

※設けない・設ける

規模及び仕上げの程度、設置備品の種類数量は現場説明書による。

(2.3.1)

請負者事務所、作業員詰所、倉庫、便所、その他の仮設物は関係法令に従って設ける。

構内既存の施設：※利用できない・利用できる（※有償・無償）

構内既存の施設：※利用できない・利用できる（※有償・無償）

(イ標仕3.1.1～3.7.3)

展示改装等における既存施設に適用する。

範囲：※図示・現場説明書による

解体対象物に対して石綿含有の事前調査を行ない、結果を発注者に報告し、現場内に掲示する。労基署等への報告対象に該当する場合は、遅滞なく報告する。

一時保管が必要な再利用品の養生、保管場所への移動

・行なう再利用品：※図示・現場説明書による

保管場所：※図示・現場説明書による

・行なわない

(12.2.1)

製材、合板、集成材は日本農林規格(JAS)の規格品とし、パーティクルボード、繊維板類の木質系合成材は日本産業規格(JIS)の規格品とする。

種類	接着の程度	等級	板面の品質	表面単板の樹種	その他
・普通合板	※2類・1類	－	※2等・1等	※ﾌﾗﾝｼﾞ	・防虫処理
・ランバーコアー合板	※2類・1類	－	※2等・1等	※ｼﾞﾝﾊﾞｰ	・防虫処理
・天然木化粧合板	※2類・1類	－	－	・ﾌﾗﾝｼﾞ	・防虫処理
・構造用合板	※1類・特類	※2級・1級	※C-D	※ﾌﾗﾝｼﾞ	・強度等級：・防虫処理

加工処理：※行わない・有機酸アンモニア放散抑制(使用箇所)

(12.2.1)

品名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・たも・なら・しおじ	
・構造用集成材	・1種※2種・3種	・	
・造作用集成材	※1等・2等	・	
・化粧びり造作用集成材	※1等・2等	・	

・下地用床板張り(12.6.1～2)（表12.6.1）

・下張り用床板※合板（t=12mm以上）・パーティクルボード（t=15mm以上）

・下張り用床板（二重）※合板（t=12mm以上+5.5mm）

・フローリング張り(19.5.2～6)（表19.5.1～6）

種類	樹種	種別/寸法	工法	仕上げ塗装等
※複合フローリング （※天然木化粧・特殊加工化粧）	※なら・C種	・A種・B種	※釘留め工法 ・接着工法	※塗装品 ・現場塗装
・単層フローリング （※ボード・ブロック）	・	t= W×L=	※釘留め工法 ・接着工法	※塗装品 ・現場塗装

・縁甲板張り樹種：※ひのき・寸法：t= mm W×L= × mm(12.6.1～2)（表12.6.1）

あと施工アンカーボルト：※金属系アンカーボルト（埋め込み長さは5d以上を原則する）

・接着系アンカーボルト

引抜耐力の確認試験：※行わない・行なう(イ標仕14.1.3)

ねじ、ピン、プラグ材(イ標仕14.4.1～3)

室長

室長補佐

グループ長

担当

箕面市教育委員会事務局
子ども未来創造局文化国際室

工事名称第二別館郷土資料館
（展示制作委託業務）

設計年月令和5年10月

図面番号02

図面名称特記仕様書01

整理番号

縮尺－

6	ステンレスの表面 仕上げ	<table><tr><th>種 類</th><th>当該箇所</th></tr><tr><td>※H L程度</td><td>下記以外の見え掛かり全て</td></tr><tr><td>・No. 2 B程度</td><td></td></tr><tr><td>・鏡面仕上げ</td><td></td></tr><tr><td>・パ イ' レーション</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	種 類	当該箇所	※H L程度	下記以外の見え掛かり全て	・No. 2 B程度		・鏡面仕上げ		・パ イ' レーション				7	アルミニウム及び アルミニウム合金 の表面処理	<table><tr><td>種 別 ()</td><td>当該箇所 ()</td></tr><tr><td></td><td>(14. 2. 1) (表14. 2. 1)</td></tr><tr><td></td><td>(14. 2. 2) (表14. 2. 2)</td></tr><tr><td></td><td>(14. 4. 1～4) (表14. 4. 1～2)</td></tr><tr><td></td><td>(14. 5. 1～4) (表14. 5. 1)</td></tr><tr><td></td><td>(15. 3. 1～5)</td></tr><tr><td></td><td>(6. 2. 5) (表6. 2. 5) (15. 4. 1～4)</td></tr><tr><td></td><td>(15. 5. 1～5) (表15. 5. 1)</td></tr><tr><td></td><td>(15. 6. 1～7) (表15. 6. 1)</td></tr><tr><td></td><td>(16. 14. 2)</td></tr></table>	種 別 ()	当該箇所 ()		(14. 2. 1) (表14. 2. 1)		(14. 2. 2) (表14. 2. 2)		(14. 4. 1～4) (表14. 4. 1～2)		(14. 5. 1～4) (表14. 5. 1)		(15. 3. 1～5)		(6. 2. 5) (表6. 2. 5) (15. 4. 1～4)		(15. 5. 1～5) (表15. 5. 1)		(15. 6. 1～7) (表15. 6. 1)		(16. 14. 2)	8	鉄鋼の亜鉛めっき	<table><tr><td>溶融亜鉛めっき： 種 別 ()</td><td>当該箇所 ()</td></tr><tr><td>電気亜鉛めっき： 種 別 ()</td><td>当該箇所 ()</td></tr><tr><td>野縁等の種類： ※19形 (屋内)</td><td>・25形 (屋外)</td></tr><tr><td>スタッド、ランナーの種類： ※ (表14. 5. 1)による</td><td>・ ()</td></tr><tr><td>既製目地材： ・使用する (形状：)</td><td>・使用しない</td></tr><tr><td>床の目地工法： ※ (15. 3. 5)</td><td>・図示</td></tr><tr><td>標仕6. 2. 5(2) (イ)及び標仕15. 4. 3による コンクリートの仕上げの平坦さの種類： ・a種 ・b種 ・c種</td><td></td></tr><tr><td>種類及び品質： ・せっこう系 ※セメント系</td><td></td></tr><tr><td>・薄付け仕上塗材：呼び名 ()</td><td>仕上りの形状等 ()</td></tr><tr><td>・複層仕上塗材：呼び名 ()</td><td>仕上りの形状等 ()</td></tr><tr><td>・軽量骨材仕上塗材：呼び名 ()</td><td>仕上りの形状等 ()</td></tr></table>	溶融亜鉛めっき： 種 別 ()	当該箇所 ()	電気亜鉛めっき： 種 別 ()	当該箇所 ()	野縁等の種類： ※19形 (屋内)	・25形 (屋外)	スタッド、ランナーの種類： ※ (表14. 5. 1)による	・ ()	既製目地材： ・使用する (形状：)	・使用しない	床の目地工法： ※ (15. 3. 5)	・図示	標仕6. 2. 5(2) (イ)及び標仕15. 4. 3による コンクリートの仕上げの平坦さの種類： ・a種 ・b種 ・c種		種類及び品質： ・せっこう系 ※セメント系		・薄付け仕上塗材：呼び名 ()	仕上りの形状等 ()	・複層仕上塗材：呼び名 ()	仕上りの形状等 ()	・軽量骨材仕上塗材：呼び名 ()	仕上りの形状等 ()	9	軽量鉄骨天井下地	⑩ 軽量鉄骨壁下地	11	モルタル塗り	12	床コンクリートの 直均し仕上げ	13	セルフレベリング 材塗り	14	仕上塗材仕上げ	⑮ ガラス材料	<table><tr><th>ガラスの種類</th></tr><tr><td>○フロート板ガラス</td><td>厚さの呼び (mm)： ※図示 ・</td></tr><tr><td>・高透過ガラス</td><td>厚さの呼び (mm)： ※図示 ・</td></tr><tr><td>・合わせガラス</td><td>材料板ガラスの種類： ※フロート板ガラス ・高透過ガラス ・強化ガラス 厚さの組合せ (mm)： ※図示 ・ + 特性による種類： ※Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</td></tr><tr><td>○強化ガラス</td><td>材料板ガラスの種類： ※フロート板ガラス ・高透過ガラス 特性による種類： ※Ⅰ類 ・Ⅲ類</td></tr><tr><td>・</td><td>厚さ (mm)： ※図示 ・</td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr></table>	ガラスの種類	○フロート板ガラス	厚さの呼び (mm)： ※図示 ・	・高透過ガラス	厚さの呼び (mm)： ※図示 ・	・合わせガラス	材料板ガラスの種類： ※フロート板ガラス ・高透過ガラス ・強化ガラス 厚さの組合せ (mm)： ※図示 ・ + 特性による種類： ※Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類	○強化ガラス	材料板ガラスの種類： ※フロート板ガラス ・高透過ガラス 特性による種類： ※Ⅰ類 ・Ⅲ類	・	厚さ (mm)： ※図示 ・	・		⑯ ガラス留め材	17	特殊なガラスの取付	⑰ ガラス用フィルム	<table><tr><th>当該場所</th><th>種類</th><th>張り面</th></tr><tr><td></td><td>※衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム (GI-Ⅰ)</td><td>※内張り ・外張り</td></tr><tr><td></td><td>・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム (GD-Ⅰ)</td><td>※内張り ・外張り</td></tr><tr><td></td><td>・低反射フィルム</td><td>※両面張り ・内張り</td></tr><tr><td></td><td>・グラフィック出力フィルム</td><td>※内張り ・外張り</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	当該場所	種類	張り面		※衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム (GI-Ⅰ)	※内張り ・外張り		・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム (GD-Ⅰ)	※内張り ・外張り		・低反射フィルム	※両面張り ・内張り		・グラフィック出力フィルム	※内張り ・外張り				19	塗装材料	<table><tr><td>品質はJIS A 5759Iによる。</td></tr><tr><td>工場で焼付塗装とする場合は、塗料メーカーの仕様による。</td></tr></table>	品質はJIS A 5759Iによる。	工場で焼付塗装とする場合は、塗料メーカーの仕様による。
		種 類	当該箇所																																																																																																																	
※H L程度	下記以外の見え掛かり全て																																																																																																																			
・No. 2 B程度																																																																																																																				
・鏡面仕上げ																																																																																																																				
・パ イ' レーション																																																																																																																				
種 別 ()	当該箇所 ()																																																																																																																			
	(14. 2. 1) (表14. 2. 1)																																																																																																																			
	(14. 2. 2) (表14. 2. 2)																																																																																																																			
	(14. 4. 1～4) (表14. 4. 1～2)																																																																																																																			
	(14. 5. 1～4) (表14. 5. 1)																																																																																																																			
	(15. 3. 1～5)																																																																																																																			
	(6. 2. 5) (表6. 2. 5) (15. 4. 1～4)																																																																																																																			
	(15. 5. 1～5) (表15. 5. 1)																																																																																																																			
	(15. 6. 1～7) (表15. 6. 1)																																																																																																																			
	(16. 14. 2)																																																																																																																			
溶融亜鉛めっき： 種 別 ()	当該箇所 ()																																																																																																																			
電気亜鉛めっき： 種 別 ()	当該箇所 ()																																																																																																																			
野縁等の種類： ※19形 (屋内)	・25形 (屋外)																																																																																																																			
スタッド、ランナーの種類： ※ (表14. 5. 1)による	・ ()																																																																																																																			
既製目地材： ・使用する (形状：)	・使用しない																																																																																																																			
床の目地工法： ※ (15. 3. 5)	・図示																																																																																																																			
標仕6. 2. 5(2) (イ)及び標仕15. 4. 3による コンクリートの仕上げの平坦さの種類： ・a種 ・b種 ・c種																																																																																																																				
種類及び品質： ・せっこう系 ※セメント系																																																																																																																				
・薄付け仕上塗材：呼び名 ()	仕上りの形状等 ()																																																																																																																			
・複層仕上塗材：呼び名 ()	仕上りの形状等 ()																																																																																																																			
・軽量骨材仕上塗材：呼び名 ()	仕上りの形状等 ()																																																																																																																			
ガラスの種類																																																																																																																				
○フロート板ガラス	厚さの呼び (mm)： ※図示 ・																																																																																																																			
・高透過ガラス	厚さの呼び (mm)： ※図示 ・																																																																																																																			
・合わせガラス	材料板ガラスの種類： ※フロート板ガラス ・高透過ガラス ・強化ガラス 厚さの組合せ (mm)： ※図示 ・ + 特性による種類： ※Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類																																																																																																																			
○強化ガラス	材料板ガラスの種類： ※フロート板ガラス ・高透過ガラス 特性による種類： ※Ⅰ類 ・Ⅲ類																																																																																																																			
・	厚さ (mm)： ※図示 ・																																																																																																																			
・																																																																																																																				
当該場所	種類	張り面																																																																																																																		
	※衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム (GI-Ⅰ)	※内張り ・外張り																																																																																																																		
	・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム (GD-Ⅰ)	※内張り ・外張り																																																																																																																		
	・低反射フィルム	※両面張り ・内張り																																																																																																																		
	・グラフィック出力フィルム	※内張り ・外張り																																																																																																																		
品質はJIS A 5759Iによる。																																																																																																																				
工場で焼付塗装とする場合は、塗料メーカーの仕様による。																																																																																																																				
		20	金属面の塗装	<table><tr><td colspan="2">(18. 4. 3) (18. 8. 4)</td></tr><tr><th>種 別</th><th>種 類</th></tr><tr><td>※溶剤塗装</td><td>○メラミン樹脂焼付塗り (M-BE) ・アクリル樹脂焼付塗り (A-BE) ・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) ・その他 ()</td></tr><tr><td>・粉体塗装</td><td>・エポキシ ・ポリエステル ・アクリル ・ハイブリット型 (/)</td></tr><tr><td>・エマルション 塗装</td><td>・つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)</td></tr></table>	(18. 4. 3) (18. 8. 4)		種 別	種 類	※溶剤塗装	○メラミン樹脂焼付塗り (M-BE) ・アクリル樹脂焼付塗り (A-BE) ・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) ・その他 ()	・粉体塗装	・エポキシ ・ポリエステル ・アクリル ・ハイブリット型 (/)	・エマルション 塗装	・つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)	21	木部の塗装	<table><tr><td colspan="2">(18. 4. 2) (18. 5. 2) (18. 8. 3) (18. 10. 2)</td></tr><tr><th>種 別</th><th>種 類</th></tr><tr><td>・透明</td><td>※クリヤラッカー塗り (CL) ・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td></tr><tr><td>・エナメル</td><td>※ラッカーエナメル塗り (LE) ・ポリウレタンエナメル塗り (UE) ・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</td></tr><tr><td>○着色</td><td>○CL上塗り： ・溶剤形着色剤 ・油性染色着色剤 ○UC上塗り： 油性顔料着色剤 又は 溶剤形顔料着色剤</td></tr><tr><td>・エマルション 塗装</td><td>・つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)</td></tr></table>	(18. 4. 2) (18. 5. 2) (18. 8. 3) (18. 10. 2)		種 別	種 類	・透明	※クリヤラッカー塗り (CL) ・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	・エナメル	※ラッカーエナメル塗り (LE) ・ポリウレタンエナメル塗り (UE) ・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	○着色	○CL上塗り： ・溶剤形着色剤 ・油性染色着色剤 ○UC上塗り： 油性顔料着色剤 又は 溶剤形顔料着色剤	・エマルション 塗装	・つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)	22	せっこうボード面 の塗装	<table><tr><td colspan="2">(18. 8. 2) (18. 9. 2)</td></tr><tr><th>種 別</th><th>種 類</th></tr><tr><td>・エマルション 塗装</td><td>・つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G) ・合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)</td></tr></table>	(18. 8. 2) (18. 9. 2)		種 別	種 類	・エマルション 塗装	・つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G) ・合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)	23	接着剤	<table><tr><td colspan="2">(19. 2. 2) (19. 3. 2)</td></tr><tr><td colspan="2">ホルムアルデヒド放散量による区分は、F☆☆☆☆とする。また、接着剤に含まれる可塑剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性のものとする。</td></tr><tr><td>厚さ (mm)： ※2. 5</td><td>・ ()</td></tr><tr><td>柄： ※無地</td><td>・マーブル柄</td></tr><tr><td>参考メーカー・品名：</td><td></td></tr><tr><td>工法： ※熱溶接工法</td><td>・突付け (当該箇所：)</td></tr><tr><td>厚さ (mm)： ※2</td><td>・3</td></tr><tr><td>参考メーカー・品名：</td><td></td></tr><tr><td>工法： ※熱溶接工法</td><td>・突付け (当該箇所：)</td></tr><tr><td>高さ (mm)： ※60</td><td>・75</td></tr><tr><td colspan="2">(19. 3. 1～3) (表19. 3. 2)</td></tr><tr><td colspan="2">・タフテッドカーペット パイル形状： ・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用 ・ () パイル長 (mm)： 帯電性： ※適用する ・適用しない 工法： ・全面接着工法 ・グリッパー工法 下敷き材： ※反毛フェルト JIS L3204 第2種2号 呼び厚さ8mm ・ () 参考メーカー・品名：</td></tr><tr><td colspan="2">(19. 3. 1～3) (表19. 3. 2)</td></tr><tr><td colspan="2">・タイルカーペット 種類： ※第1種 ・第2種 パイル形状： ※ループパイル ・カットパイル ・カット、ループ併用 総厚さ (mm)： ※6. 5 ・ () 参考メーカー・品名：</td></tr><tr><td colspan="2">・見切り、押え金物 材質、種類及び形状： ※図示 ・ ()</td></tr><tr><td colspan="2">(19. 6. 1～3) (表19. 6. 1)</td></tr></table>	(19. 2. 2) (19. 3. 2)		ホルムアルデヒド放散量による区分は、F☆☆☆☆とする。また、接着剤に含まれる可塑剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性のものとする。		厚さ (mm)： ※2. 5	・ ()	柄： ※無地	・マーブル柄	参考メーカー・品名：		工法： ※熱溶接工法	・突付け (当該箇所：)	厚さ (mm)： ※2	・3	参考メーカー・品名：		工法： ※熱溶接工法	・突付け (当該箇所：)	高さ (mm)： ※60	・75	(19. 3. 1～3) (表19. 3. 2)		・タフテッドカーペット パイル形状： ・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用 ・ () パイル長 (mm)： 帯電性： ※適用する ・適用しない 工法： ・全面接着工法 ・グリッパー工法 下敷き材： ※反毛フェルト JIS L3204 第2種2号 呼び厚さ8mm ・ () 参考メーカー・品名：		(19. 3. 1～3) (表19. 3. 2)		・タイルカーペット 種類： ※第1種 ・第2種 パイル形状： ※ループパイル ・カットパイル ・カット、ループ併用 総厚さ (mm)： ※6. 5 ・ () 参考メーカー・品名：		・見切り、押え金物 材質、種類及び形状： ※図示 ・ ()		(19. 6. 1～3) (表19. 6. 1)		24	ビニル床シート 張り	25	ビニル床タイル 張り	26	ビニル幅木	27	カーベツト敷き	28	畳敷き	29	せっこうボード・ 無機質系ボード 張り	30	クロス (壁紙) 張り	31	ピクチャーレール	32	プラスチック材	33	天然石・テラゾ 張り	35	タイル張り																					
(18. 4. 3) (18. 8. 4)																																																																																																																				
種 別	種 類																																																																																																																			
※溶剤塗装	○メラミン樹脂焼付塗り (M-BE) ・アクリル樹脂焼付塗り (A-BE) ・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) ・その他 ()																																																																																																																			
・粉体塗装	・エポキシ ・ポリエステル ・アクリル ・ハイブリット型 (/)																																																																																																																			
・エマルション 塗装	・つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)																																																																																																																			
(18. 4. 2) (18. 5. 2) (18. 8. 3) (18. 10. 2)																																																																																																																				
種 別	種 類																																																																																																																			
・透明	※クリヤラッカー塗り (CL) ・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)																																																																																																																			
・エナメル	※ラッカーエナメル塗り (LE) ・ポリウレタンエナメル塗り (UE) ・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)																																																																																																																			
○着色	○CL上塗り： ・溶剤形着色剤 ・油性染色着色剤 ○UC上塗り： 油性顔料着色剤 又は 溶剤形顔料着色剤																																																																																																																			
・エマルション 塗装	・つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)																																																																																																																			
(18. 8. 2) (18. 9. 2)																																																																																																																				
種 別	種 類																																																																																																																			
・エマルション 塗装	・つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G) ・合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)																																																																																																																			
(19. 2. 2) (19. 3. 2)																																																																																																																				
ホルムアルデヒド放散量による区分は、F☆☆☆☆とする。また、接着剤に含まれる可塑剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性のものとする。																																																																																																																				
厚さ (mm)： ※2. 5	・ ()																																																																																																																			
柄： ※無地	・マーブル柄																																																																																																																			
参考メーカー・品名：																																																																																																																				
工法： ※熱溶接工法	・突付け (当該箇所：)																																																																																																																			
厚さ (mm)： ※2	・3																																																																																																																			
参考メーカー・品名：																																																																																																																				
工法： ※熱溶接工法	・突付け (当該箇所：)																																																																																																																			
高さ (mm)： ※60	・75																																																																																																																			
(19. 3. 1～3) (表19. 3. 2)																																																																																																																				
・タフテッドカーペット パイル形状： ・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用 ・ () パイル長 (mm)： 帯電性： ※適用する ・適用しない 工法： ・全面接着工法 ・グリッパー工法 下敷き材： ※反毛フェルト JIS L3204 第2種2号 呼び厚さ8mm ・ () 参考メーカー・品名：																																																																																																																				
(19. 3. 1～3) (表19. 3. 2)																																																																																																																				
・タイルカーペット 種類： ※第1種 ・第2種 パイル形状： ※ループパイル ・カットパイル ・カット、ループ併用 総厚さ (mm)： ※6. 5 ・ () 参考メーカー・品名：																																																																																																																				
・見切り、押え金物 材質、種類及び形状： ※図示 ・ ()																																																																																																																				
(19. 6. 1～3) (表19. 6. 1)																																																																																																																				
		室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室		工事名称	第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)		設計年月	図面番号																																																																																																								
								図面名称	特記仕様書02		令和 5年 10月	03																																																																																																								
								縮尺	－		整理番号																																																																																																									

[illegible]

7
メ
カ
装
置

1 適用範囲

2 一般事項

本章は、原理、法則、現象やしくみを、人力または動力を用い動的に演出表現する機械装置に適用する。

(1) システム構成は展示演出の機能を十分に満たしたものとする。

(2) 挟まり、衝突等通常使用における安全性と、過負荷、オーバーラン等による誤動作に対して安全対策を施す。

(3) 騒音、振動を発生する装置については、防音、防振対策を施す。

(4) 潤滑油の補充、消耗品の交換等のメンテナンス性を考慮する。

(5) 造作物、造形物などとの取合いを検討し、調整する。

(6) 十分な試運転、調整期間を確保する製作工程とする。

(7) 稼動回数が多く動的荷重の負荷が掛る部材は疲労破壊に対して十分な安全を確保する。

(8) 部材接合部の力の作用特性にあった接合方式（ボルトまたは溶接）とする。

(9) 使用する J I S 及び I S O 規格のある材料、部品は、規格に示された範囲のものから用途に応じて適切な品質のものを選定する。

(10) 電源部は10章「電気設備」による。

(11) 機構図、システム図等の製作図の他、保守計画を提出する。

⑧
映
像
音
響
・
情
報

①適用範囲

②一般事項

本章は、展示演出に関わる、映像音響、情報機器等のシステムハードと、それらの演出・動作制御に必要なプログラム等のソフトウェアと、映像音響機器、コンピュータによって送出される映像音響コンテンツ、情報コンテンツ製作、映像音響プログラムに適用する。

(1) 材料、製作は、標仕電気設備工事編第6編通信・情報設備工事の該当節による。

(2) 材料、機器、部品、製品等は、設計図書の表示と同等品とする。

(3) J I S 及び I S O 規格のある材料は、規格に示された範囲のものから用途に応じて選択する。

(4) 引渡時に各装置や機器の簡易な整備、保守に必要な工具、部品1式を納品する。

(5) 機器の設定を行う際は、監督職員の立会いにて設定調整を実施し、機器の設定（ボリューム、スイッチなど）位置にマーキングを行う。

(6) 電源部、制御器の組み立ては、可能な限りユニット化し、分解組み立て、点検を容易にする。

(7) 電源を既設コンセントより供給する場合は3芯（アース付）の ケーブル及びソケットを使用する。

(8) 機器より発生する熱の放熱対策を十分に行なう。

(9) 機器の吊下げは、脱落、落下などがないよう支持力のある下地材に堅固に取り付ける。

(10) 映像音響コンテンツ製作、情報コンテンツ製作は設計意図を的確に捉え実現するために、本展示の 特徴にあった作風を持つ製作スタッフを選定する。

(11) 映像音響コンテンツのシナリオ作成に当たっては、構成資料を基にラフシナリオを作成し、方向性を確認後、本番シナリオを作成する。

(12) コンピュータにて再生する情報コンテンツにおいてはメニュー等の画面遷移、フローチャート、シナリオ、各画面デザインを作成する。

(13) 支給を受けたもの及び借用した各種構成資料は、その受取り、返却の履歴を借用書、受領書で管理する。

(14) 撮影計画は、シナリオに沿って監督職員と協議の上決定する。

(15) C G、アニメーションは、下絵・サンプル等を監督職員に提出し、承諾を得る。

(16) 映像音響コンテンツの編集に当たっては、原則として粗編集、本編集、ナレーション録音の各段階において試写または立会により監督職員の承諾を受ける。

(17) 完成した映像音響コンテンツのオリジナルデータは監督職員と協議の上、記録メディア等の保管形態、保管場所を定める。

(18) 受注者は、製作用素材ごとに著作者又は著作権者、使用条件等をまとめたリストを作成し、完成時に監督職員に提出する。

③構成資料

文、図、数値データ、写真等映像音響コンテンツ製作、情報コンテンツ製作のシナリオ作成の基となる参考資料を構成資料という。

構成資料の入手区分

※図 示 ・シノブシスを基に入手 ○監督職員より支給

④製作用素材

映像音響コンテンツ製作、情報コンテンツ製作の基となる動画、静止画、音声(効果音、BGM、ナレーション等)、テロップ等の素材を製作用素材といい、使用する製作用素材の有無、詳細は図示による。

個人、ビデオプロダクション、自治体、関連機関、放送局、新聞社など発注者以外が所有する製作用素材を使用する場合の著作権処理は以下とし、詳細は図示による。

・受注者が著作権処理を行なう（発注者の公的書面の発行： ※あり ・なし）

○受注者は著作権処理を行なわない

5 監 修

⑥著作権

⑨
展
示
パ
ー
ツ

①適用範囲

②一般事項

③実物資料

⑩
電
気
設
備

①適用範囲

②一般事項

③種目

○外国語翻訳 ○なし ・有り（・英 ・韓 ・中 ・ ）
○新規撮影 ・なし ○有り（監督職員の立会いは要協議）

専門家の監修
※現場説明書による
・専門家の監修を受ける（ ・有償 ・無償 ）
分野：（ ） 人数：（ 名）
・専門家の監修を受けない

完成された製作物は、当施設内のみでの使用を基本条件とする。複製、別形態への加工、頒布等については発注者と受注者との間で別途協議して決定する。

展示する実物資料（もしくは複製）を打合せによって決められた位置、角度に支持、固定、カバーする展示パーツ製作に適用する。

(1) 展示方法を確認の上、監督職員の立会いのもと実物資料の必要各部の計測を行い展示方法に適した形状、材料とする。

(2) 計測及び展示パーツ設置に際し、実物資料に触れる必要が生じる場合は、監督職員の指示に従う。

(3) 計測及び展示パーツ設置に際しては、作業エリアを明確に区画し、他の作業資材等と区分する。

(4) 実物資料との接面となる材料については、経年変化による劣化、付着しないものとする。

(5) 展示パーツは接着剤、塗装の乾燥期間を十分確保する。

(6) 展示パーツは十分な強度を確保し、実物資料の破損、脱落、落下などがないように取り付ける。

(7) 展示パーツの設置に際しては、不注意による実物資料の破損、汚損に注意し慎重に設置する。

実物資料の運搬、移動
※行なわない ・その他（ ）

展示パーツへの取り付け
※行なわない ・その他（ ）

本章は、展示製作における分電盤より端末側の業務に適用する。

(1) 建築基準法の他、電気事業法、電気用品安全法、消防法、電気設備技術基準、電気工事士法、日本電気協会内線規定、有線電気通信法、電気通信事業法等の電気関係法規及びこれら関連法令、政令、規程等に適合すること。

(2) 見え掛りとなる機器、配線は、取付け位置、取り付け方法、隠蔽方法等については、展示デザインとの整合性に留意する。

(3) 使用する機材は、JIS規格、電気用品取締法による形式認可、BL部品、JEC規格 JEM規格、JCS規格、JIL規格、JEL規格、JWDS規格等の諸規格の適合品とする。

(4) 使用する機材や配線類は強震時に脱落、転倒しないように固定する。

種目

種 目	概 要
○電灯設備（照明、コンセント）	・分電盤（ ・新設 ・改修） ・調光盤、調光操作盤（ ・新設 ・改修） ○展示用照明器具、サイン用照明器具（○新設 ・移設） ○点滅スイッチ（○新設 ・移設） ○調光スイッチ（○新設 ・移設） ○コンセント（○新設 ・移設） ・非常用照明（ ・増設 ・移設） ・誘導灯（ ・増設 ・移設）
○映像音響設備	○展示用映像音響機器（○新設 ・改修 ・移設）
・拡声設備	・館内放送（ ・新設 ・改修 ・移設）
・自動火災報知設備	・感知器（ ・増設 ・移設）
○情報表示設備	○マルチサイン装置（デジタルサイネージ）設置
・構内情報通信網設備	・HUB（ ・新設 ・増設 ・移設）
	・情報コンセント（ ・新設 ・増設 ・移設）
・監視カメラ設備	・施設用監視カメラ設備（ ・新設 ・増設 ・移設）
・中央監視制御設備	

④試験成績表及び測定表

5 予備品

11
機
械
設
備

1 適用範囲

2 一般事項

3 種目

4 試験

5 試験成績表及び測定表

12
そ
の
他

1 エアタイトケースの気密性能試験

完成後、下記の試験成績表及び測定表を提出する。

○絶縁抵抗試験 ○動作機能試験
・照度測定(非常用照明)
○照度測定(展示用照明。測定箇所は監督職員との協議による。)

種類・台数：（ ）

本章は、展示製作における幹線分岐より端末側範囲の業務に適用する。

(1) 建築基準法の他、水道、防災の関連法令、政令、条例、規程類に適合するとともに10章「電気設備」の諸条件にも適合すること。

(2) 見え掛りとなる機器、配管、配線は、取付け位置、取り付け方法隠蔽方法等については、展示デザインとの整合性に留意する。

(3) 使用する機材は、JIS規格、BL部品、JWWA規格、SHASE-S規格等の諸規格の適合品とする。

(4) 使用する機材や配管、配線類は強震時に脱落、転倒しないように固定する。

種目

種 目	概 要
・ 空気調和設備	・パッケージ式 空調機（ ・新設 ・改修） ・ヒートポンプ式 空調機（ ・新設 ・改修） ・ファンコイルユニット式空調機（ ・新設 ・改修） ・エアハンドリングユニット空調機（ ・新設 ・改修） ・換気設備（ ・新設 ・改修） ・排煙設備（ ・改修 ・排煙オペレータ移設）
・ 自動制御設備	・電気式 ・電子式 ・デジタル方式 ・中央監視制御装置（ ・新設 ・改修）
・ 給排水衛生設備	・展示装置への給・排水管の接続 ・ガス消火ヘッド（ ・増設 ・移設 ・取外し再取付） ・スプリンクラーヘッド（ ・増設 ・移設 ・取外し再取付）

(1) 各種配管の試験は、新設配管に適用する。

(2) 新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。

完成後、下記の試験成績表及び測定表を提出する。

・工場試験成績表 ・配管の耐圧試験結果表
・風量測定結果表 ・空調機器試運転結果表

図中記号凡例

工種記号

Z …展示造作
G・S …グラフィック・サイン
M …模型造形・アート

AV …映像音響・情報
P …パーツ
B …備品

通し番号

室長

室長補佐

グループ長

担当

箕面市教育委員会事務局
子ども未来創造局文化国際室

工事名称
第二別館郷土資料館
（展示制作委託業務）

図面名称
特記仕様書04

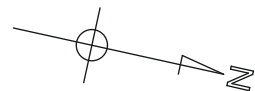
縮尺
—

設計年月
令和 5年 10月

整理番号

05

ver.1.6.1



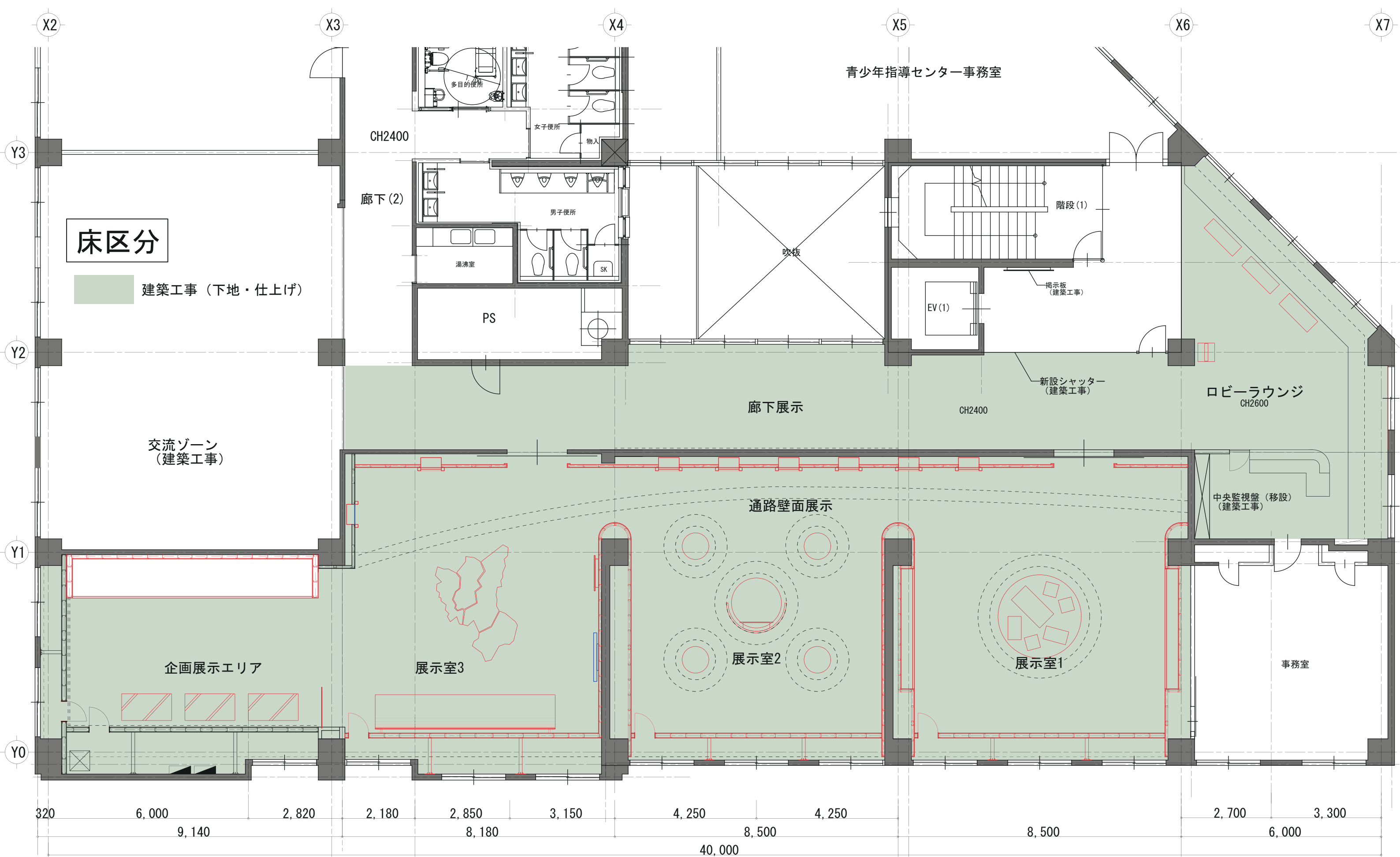
展示制作範囲：412m²

室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 06
					図面名称 2F制作範囲図	整理番号	
					縮尺 S=1/200		

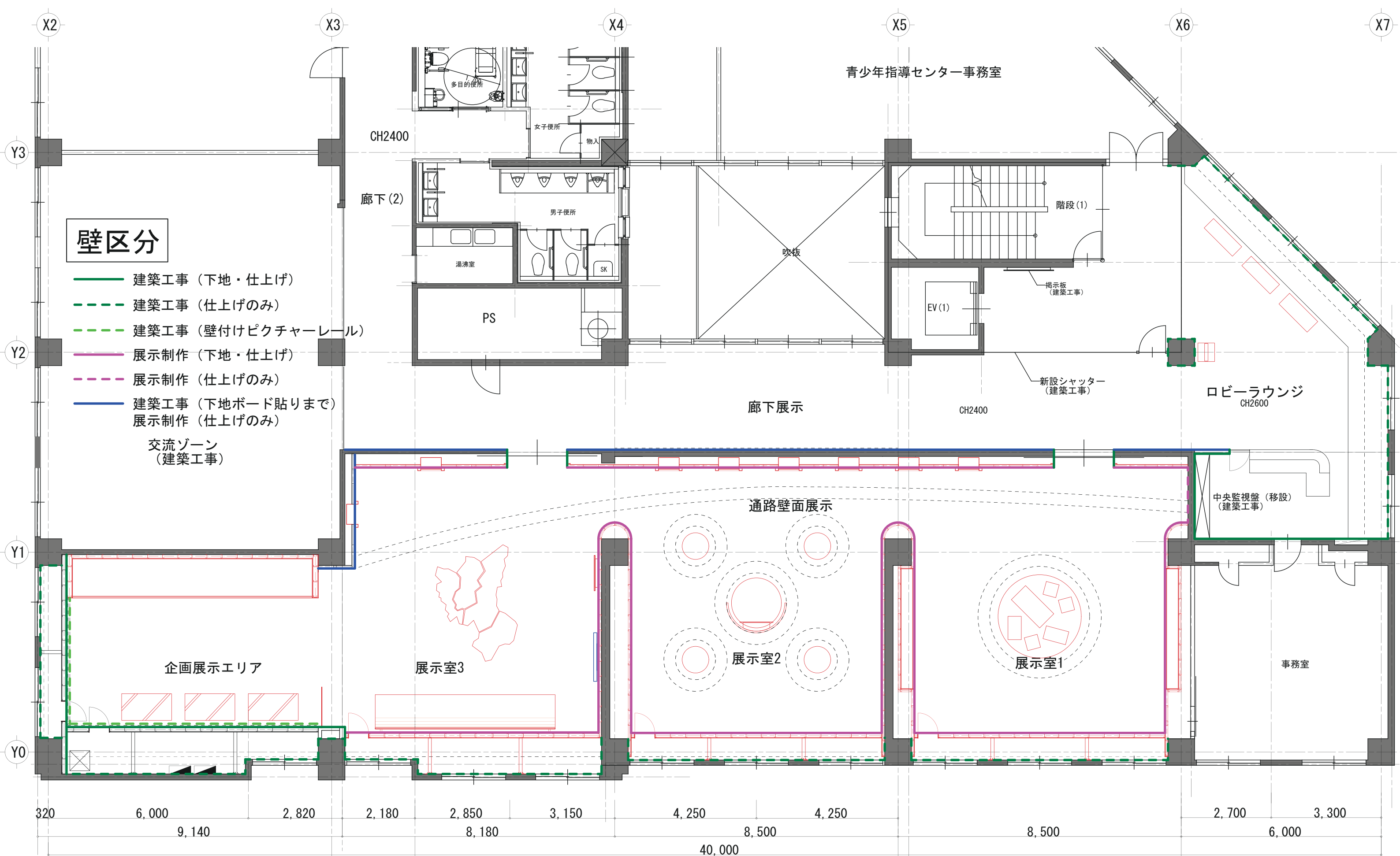
工事区分・仕上表案【建築・内装】

階・室		内装材への制限	工種	レベル・高さ	部位			工事区分		仕様	備考
						詳細	仕上りレベル	建築工事	展示制作		
2F	ロビーラウンジ	下地:準不燃以上 仕上:準不燃以上	建築・内装	床躯体レベル: FL 床仕上レベル: FL 天井高:2600	床	-	FL±0	●			
					巾木	-	-	●			
					壁	-	-	●			
					天井	下地	-	●			要カーテンレール下地補強(建築工事)
						仕上げ	FL+2600	●			
	廊下展示	下地:準不燃以上 仕上:準不燃以上	建築・内装	床躯体レベル: FL 床仕上レベル: FL 天井高:2400	床	-	FL±0	●			
					巾木	-	-	●			
					壁	展示壁下地	-	●			
						展示壁仕上げ	-		●		
						その他壁面	-	●			
					天井	-	FL+2400	●			
	通路壁面展示・展示室1〜3	下地:準不燃以上 仕上:準不燃以上	建築・内装	床躯体レベル: FL 床仕上レベル: FL 天井高:2600	床	-	FL±0	●			
					巾木	-	-		●		
					壁	既存壁仕上げ(排煙窓まわり)	-	●			
						既存壁仕上げ(その他)	-		●		
						新規壁(下がり天井干渉部)	-	●			
						新規壁(その他)	-		●		
					天井	下地	-	●			下がり天井・折り上げ天井含む
						仕上げ	FL+2600 FL+2350(下がり天井)	●			下がり天井・折り上げ天井含む
	企画展示室	下地:準不燃以上 仕上:準不燃以上	建築・内装	床躯体レベル: FL 床仕上レベル: FL 天井高:2600	床	-	FL±0	●			
					巾木	-	-	●			
					壁	新規壁下地	-	●			
						新規壁仕上げ	-	●			
						既存壁仕上げ	-	●			
					天井	下地	-	●			ハイケース下地補強含む(建築工事)
						仕上げ	FL+2600	●			
	共通		建築・内装	-	開口部・建具	既設開口部閉鎖	-	●			
						新規開口部設置	-	●			
						既存窓枠塗装	-	●			
					撤去	床・壁・天井	-	●			
						既存照明・コンセント	-	●			

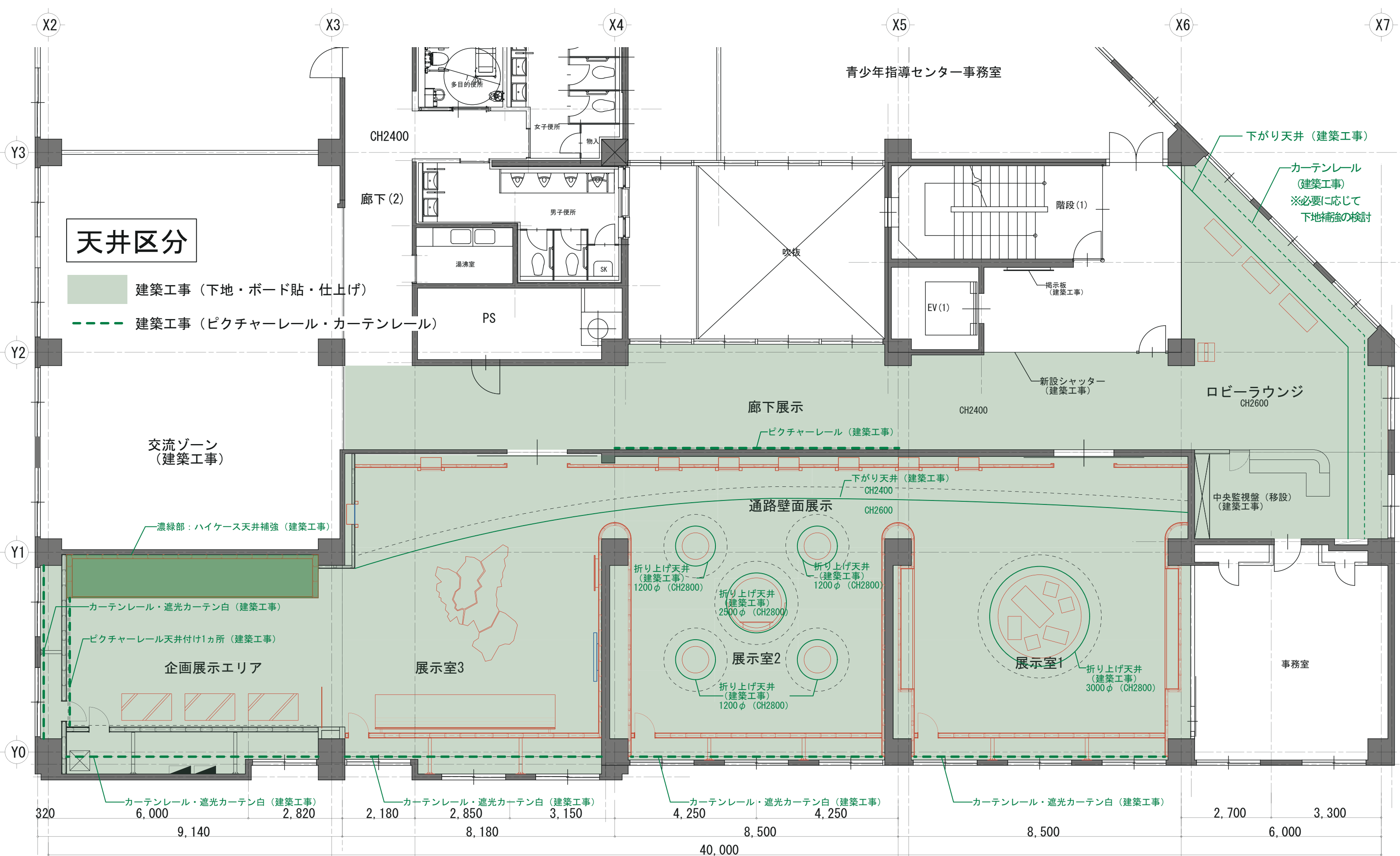
室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称	第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月	令和 5年 10月	図面番号 07
					図面名称	制作区分・仕上げ表01	整理番号		
					縮尺	-			



室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 09
					図面名称 制作区分図 (床)	整理番号	
					縮尺 S=1/100		



室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 （展示制作委託業務）	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 10
					図面名称 制作区分図（壁）	整理番号	
					縮尺 S=1/100		



室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 11
					図面名称 制作区分図 (天井)	整理番号	
					縮尺 S=1/100		

[資料館の理念・目的] ← ※憲章文として改めて整える。

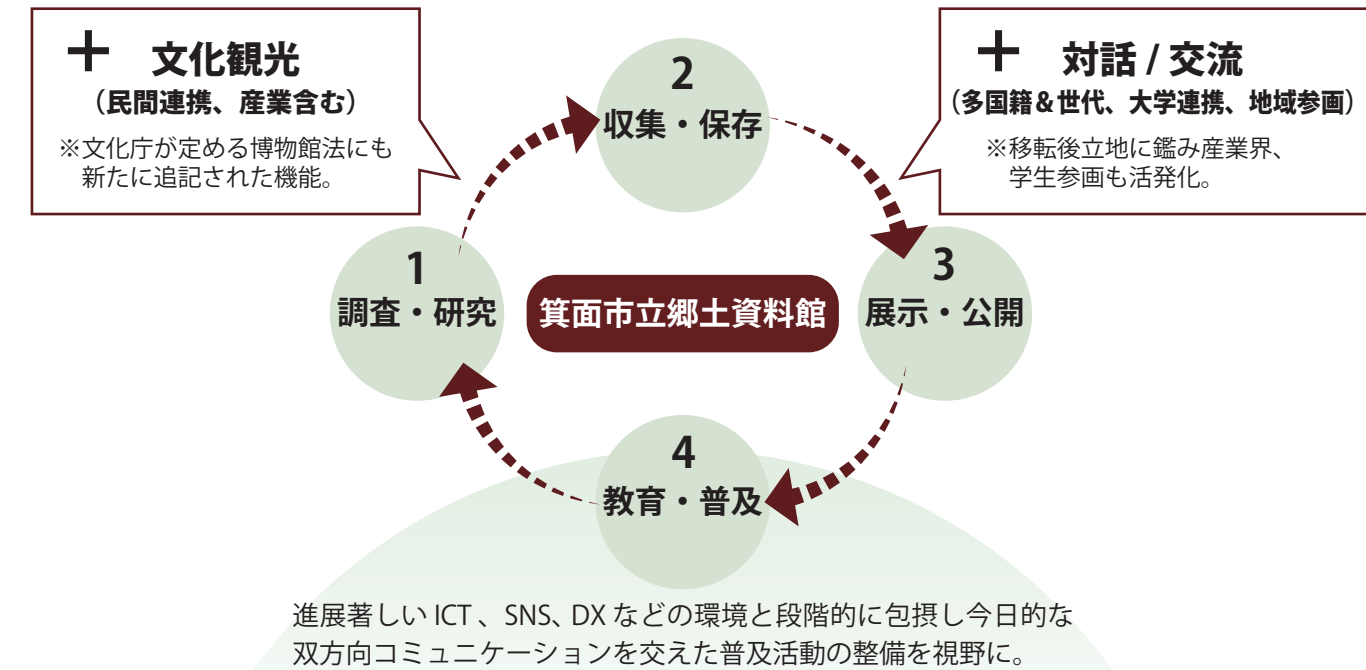
市域に伝わる資料や情報の継承、利活用などにより市内外の方々に地域の（自然や）歴史文化への理解を深めてもらことで、箕面市への愛着と誇りを醸成するとともに、現在、そして未来への都市発展へとつなげる施設とする。

[新整備のスローガン]

これまでの博物館機能と活動を踏襲、そして進展させて未来志向の「**新たな文化の拠点**」となる施設へと再創造！

※館長や担当主幹の代を重ねても同じ理念目的を標榜できる空間と事業計画が大切。

[新施設が担う事業イメージ]



施設単体としての情報でなく、市域を「**つなぐ**」ことで箕面市まるごとをミュージアム化！

[リクリエイト方針]

～箕面市に伝わる資料や歴史文化の継承と、多様な来訪者に楽しく学んでもらえる魅力をまとった「**知の拠点**」づくり～

[コンセプトメッセージ]

箕面市立郷土資料館 / MINOH HISTORICAL MUSEUM

みのお 発見タカラバコ

Discovery Treasure Box for MINOH

ここから始まる箕面のまち歩き

地域の学校利用！

ボランティアの積極的参画！

ボランティアの積極参加 & 活動拠点にも

女子旅！

大学との連携！

広がりイメージ

インバウンド観光需要も！

“みのお時空パスポート”あれこれクーポンつき！

※第五次箕面市総合計画基本構想より

～箕面の魅力アップ～

地域資源を活用し、箕面の魅力を高めることが、住民の定着、若い世代の流入を促し、安定した人口規模のまち都市基盤を維持するとともに、地域の人材や財源など、地域資源の増加を導きます。

室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和 5年 10月	図面番号
					図面名称 展示整備の考え方と方針	整理番号	12
					縮尺 —		

展示構成表

エリア・コーナー	テーマ	コーナー展開例	展示資料例	展示手法例				備考
				実物	GF	映像	その他	
1F エントランス								
2F ロビーラウンジ								
2F 廊下展示 【ギャラリーウォーク】								
市民ギャラリー	廊下スペースを生かしたアートギャラリースペース。 テーマを決め、一定のクオリティ基準を設けて展開。 壁面には、入口付近に施設ロゴ・サインをなど取り付け。				○			
2F 通路壁面展示 【ウィンドウウォッチングモダン都市箕面】								
額装コレクション展示	箕面市の町すがたを築いてきた近現代の展示資料群を時代を超えた類型立てで紹介。 額装に入れ、美術ギャラリーのように魅せて訴求する。 共通アイテムとして半立体ペーパーレリーフで額装内を演出し、見て楽しい展示に。	共通	写真				○	
			半立体ペーパーレリーフ				○	額装テーマに合わせて制作
		1.遊ぼう、学ぼう、子どもは宝	当時のおもちゃ	○				既製品調達要 相談
		2.鉄道が彩ったライフシーン	鉄道模型（Oゲージ）	○				
			鉄道模型（HOゲージ）	○				
			絵葉書	○				
		3.あこがれのモダン住宅	絵葉書	○				
			桜井・桜ヶ丘住宅地案内図				○	
		4.行楽都市としての賑わい	絵葉書	○				
	5.動物園があったよ！	絵葉書	○					
	6.うるおう街並み&風景	絵葉書	○					
	7.カフェ・パウリスタの香り	絵葉書	○					
	既存ジオラマ模型に映像を投影し、模型のシーンを当時の写真やイラストで具体的に紹介。 精緻に作られたジオラマをさらにアップデートさせる。	8.みのお時空遊覧	ラケット型線路ジオラマ	○		○		
		・箕面有馬電気軌道 開業	当時の写真			○		
		・モダン都市の風景	当時の写真			○		
		・行楽都市とまちの人々	当時の写真			○		
2F 展示室 1 【通史～みのお歴史絵巻】 ※展示資料は制作段階での検討・精査とする。								
イマーシブワイドシアター 【歴史絵巻】	箕面市の歴史を通史で完結に紹介。 正面壁面いっぱいに拡がるダイナミックな絵巻映像で、箕面市の歴史へ誘う。	映像構成①四季編（インターバル）		箕面の四季の映像			○	
		映像構成②歴史編（本編）					○	
		旧石器時代	縄文土器			○		
			銅鐸					
		古代	中尊寺経			○		
		中世	八天像			○		
		近代	山崎通分間延絵図			○		
			箕面公園出土品					
		現代（未来）				○		

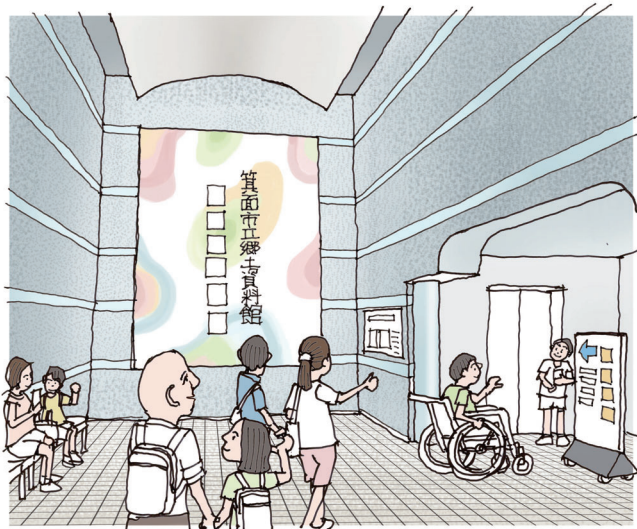
室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 （展示制作委託業務）	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 13
						整理番号	
						縮尺 —	

エリア・コーナー	テーマ	コーナー展開例		展示資料例	展示手法例				備考
					実物	GF	映像	その他	
壁面資料展示	左右壁面に各時代の実物資料を、解説と合わせて展開。 キャッチコピーを用いて、馴染みやすい歴史展示に。	人の住みつき	縄文時代	矢じり	○	○			
				粟生間谷遺跡石器/土器	○	○			
			弥生時代	如意谷銅鐸	○	○			
				土器	○	○			
				石包丁	○	○			
			古墳時代	小型丸底壺と器台	○	○			
				金環	○	○			
		聖の地として	古代（奈良・平安）	和同開珎	○	○			
				山陽道（西国街道）絵図	○	○			
				茅野駅	○	○			
				役行者		○			
		都塵をはなれた名勝	中世（鎌倉・室町）	勝尾寺 関連資料	○	○			
			近世（江戸時代）	瀧安寺 関連資料	○	○			
				富くじ 関連資料	○	○			
				元禄二年三方立合絵図（茅野郷）		○			
				山崎通分間延絵図（江戸後期）			○		
		都市文化のひろがり	明治	小林一三 関連資料	○	○			
				カフェ・パウリスタ 関連資料	○	○			
				箕面小学校	○	○			
			大正	三島海雲 関連資料	○	○			
			昭和	ミスタードーナツ 関連資料	○	○			
お宝発掘テーブル	出土遺物を中心に、テーブルに埋め込み展示。 「箕面市で出土した」と実感できる展示に。	縄文時代	矢じり	○	○				
			縄文土器	○	○				
		弥生時代	石包丁	○	○				
			弥生土器	○	○				
		古墳時代	勾玉	○	○				
			小型丸底壺と器台	○	○				
		古代（奈良・平安）	褐釉壺片	○	○				
			秋草流水蝶鳥鏡	○	○				

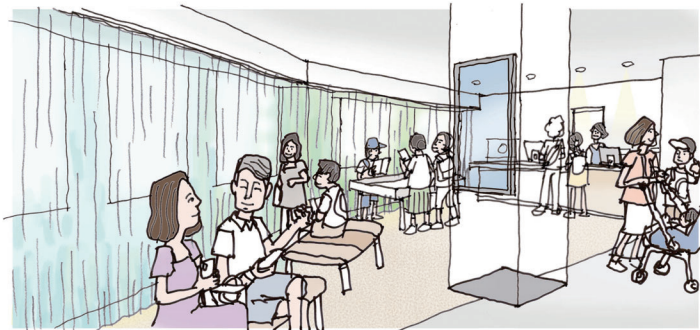
室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 （展示制作委託業務）	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 14
						整理番号	
						縮尺 —	

エリア・コーナー	テーマ	コーナー展開例	展示資料例	展示手法例				備考
				実物	GF	映像	その他	
2F 展示室2【お宝探索ラビリンス】								
富くじ展示	富くじ発祥の歴史を映像やグラフィックで紹介。 映像では富くじ体験を促し、触って学ぶ体験展示に。		富くじ実物資料	○	○	○		
			箕面富の図		○			
テーマトピック展示 （円柱展示）	円筒の内側を各トピックごとにグラフィカルに演出し、個性豊かな箕面ならではのモノ・コトに触れる。 円筒の外側には、各トピックの解説や写真を展開。	大滝信仰と役行者	書割パネル（フォトスポット）		○			
		三島海雲とカルピス	書割パネル（人物）		○		○	
		カフェ・パウリスタ	建築模型	○	○			
		小林一三と阪急電車	書割パネル（人物）		○			
			めくりパネル		○			
壁面体験展示	能動的な動作を交え、興味喚起や理解を促す ハンズオン型展示を多用に展開。		昆虫標本		○			
			勝尾寺のダルマ		○			
2F 展示室3【箕面のくらし大発見】								
箕面のなりたちと営み	明治期の4つの旧村落の合流と各エリアで営まれてきた暮らしの様子や今に息づく各々の表情を地勢や歴史とともに紹介。				○	○		
		くらし発見シアター				○		
		止々呂美村	当時の写真やアーカイブ映像			○		
		箕面村	当時の写真やアーカイブ映像			○		
		茅野村	当時の写真やアーカイブ映像			○		
		豊川村	当時の写真やアーカイブ映像			○		
箕面くらし発見テーブル	セパレートした旧村4エリア形状の展示テーブルセットを配置。地域の生活文化や歴史、経済（産業/産物）、四季の自然など多彩なテーマ編集で展開。				○		○	
くらしを担った生活道具	収蔵ストックされている様々な民具資料や生活道具をテーマ編集し、展開する可変型の展示ステージ。	農業生産系	鍬・鋤	○	○			
			苗籠	○	○			
		計量・収納具	叭	○	○			
			俵口	○	○			
		加工・運搬具	俵編み機	○	○			
			大八車	○	○			
		装具・装着品	下駄	○	○			
			簪・笄・櫛	○	○			
		飲食器具	米びつと杵	○	○			
			木臼	○	○			
		住関係器具・調度類	柳行李	○	○			
			手提げ火鉢	○	○			
		日用器具	風呂桶	○	○			
			洗濯だらいと洗濯板	○	○			
2F 企画展示エリア								

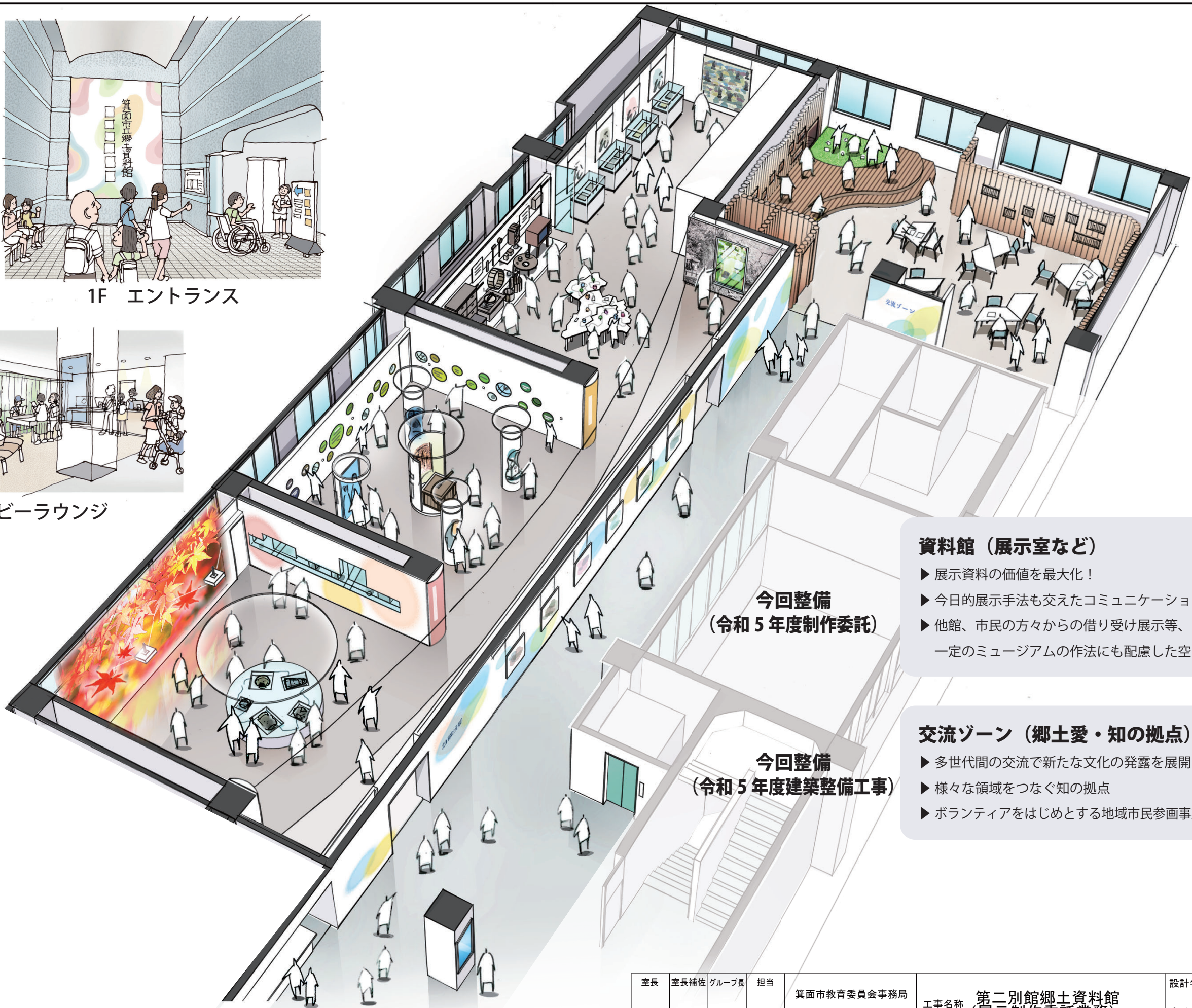
室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 （展示制作委託業務）	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 15
						整理番号	
						縮尺 —	



1F エントランス



2F ロビーラウンジ



今回整備
(令和5年度制作委託)

今回整備
(令和5年度建築整備工事)

資料館（展示室など）

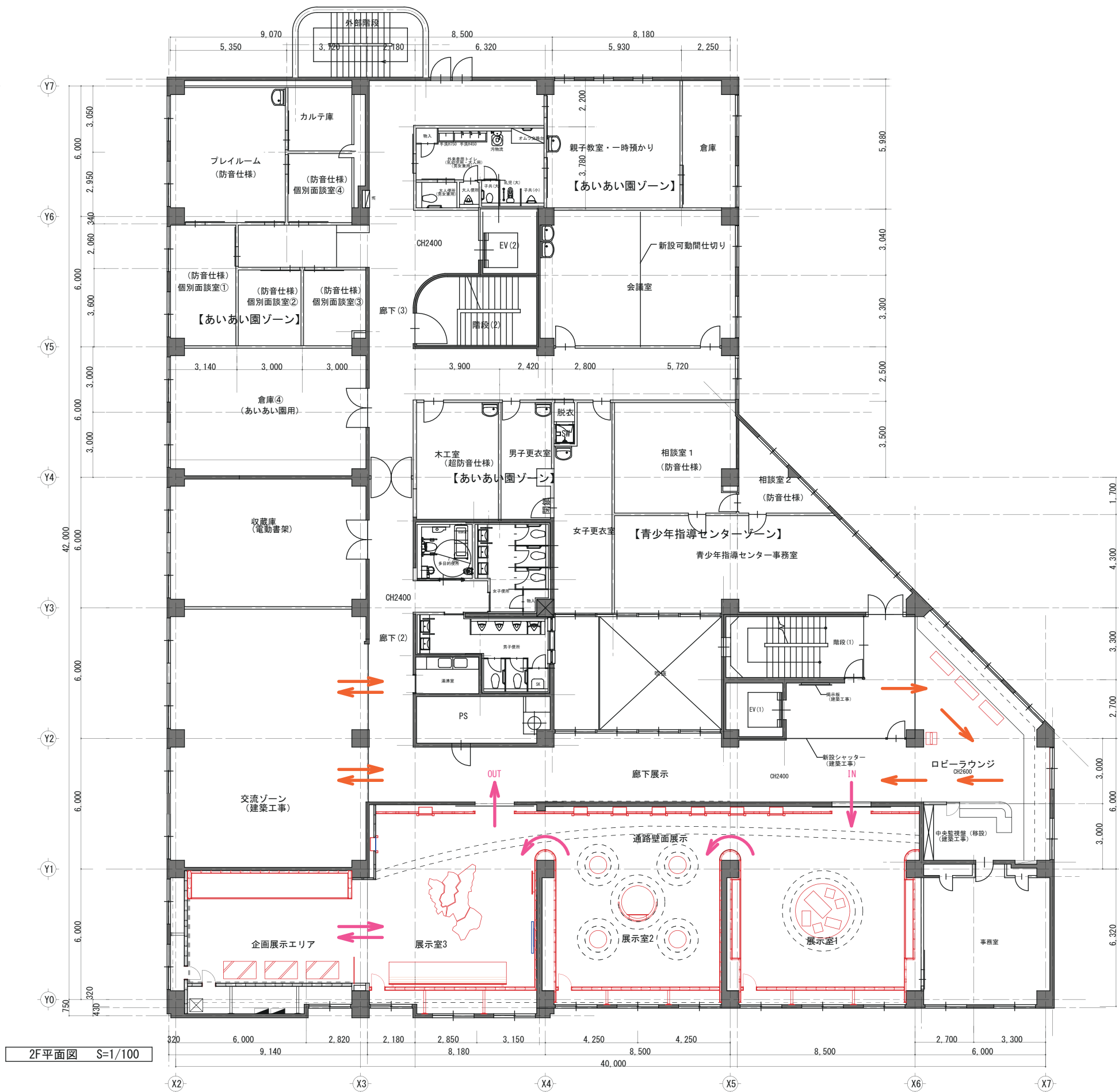
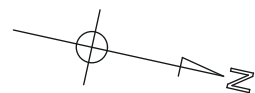
- ▶ 展示資料の価値を最大化！
- ▶ 今日的展示手法も交えたコミュニケーション型展示に！
- ▶ 他館、市民の方々からの借り受け展示等、一定のミュージアムの作法にも配慮した空間配置！

交流ゾーン（郷土愛・知の拠点）

- ▶ 多世代間の交流で新たな文化の発露を展開
- ▶ 様々な領域をつなぐ知の拠点
- ▶ ボランティアをはじめとする地域市民参画事業のセンター機能

※パースはあくまでイメージになります。詳細仕様は次ページ以降の各種図面を参考のこと。

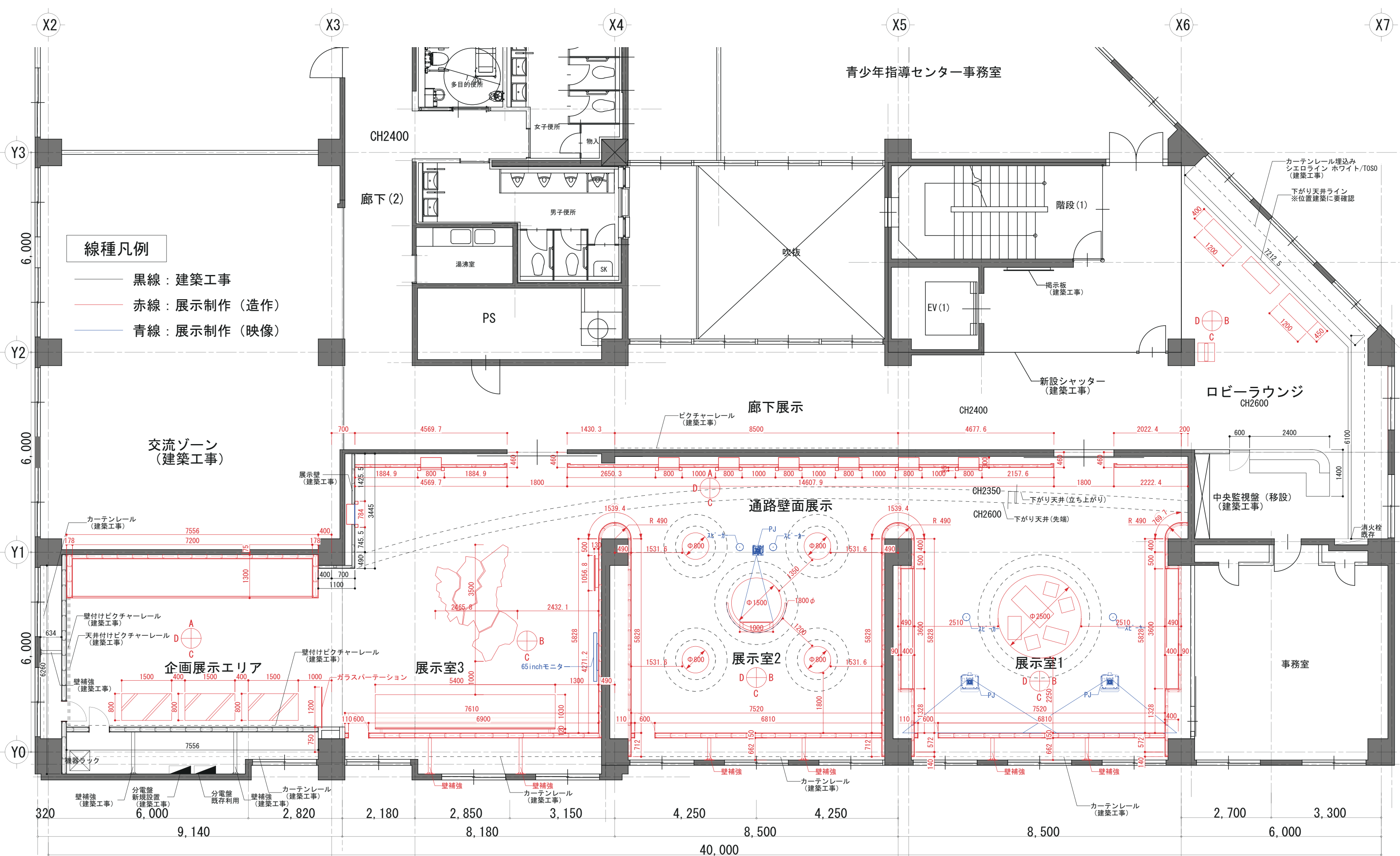
室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和5年10月	図面番号 16
					図面名称 空間イメージパース	整理番号	
					縮尺 —		



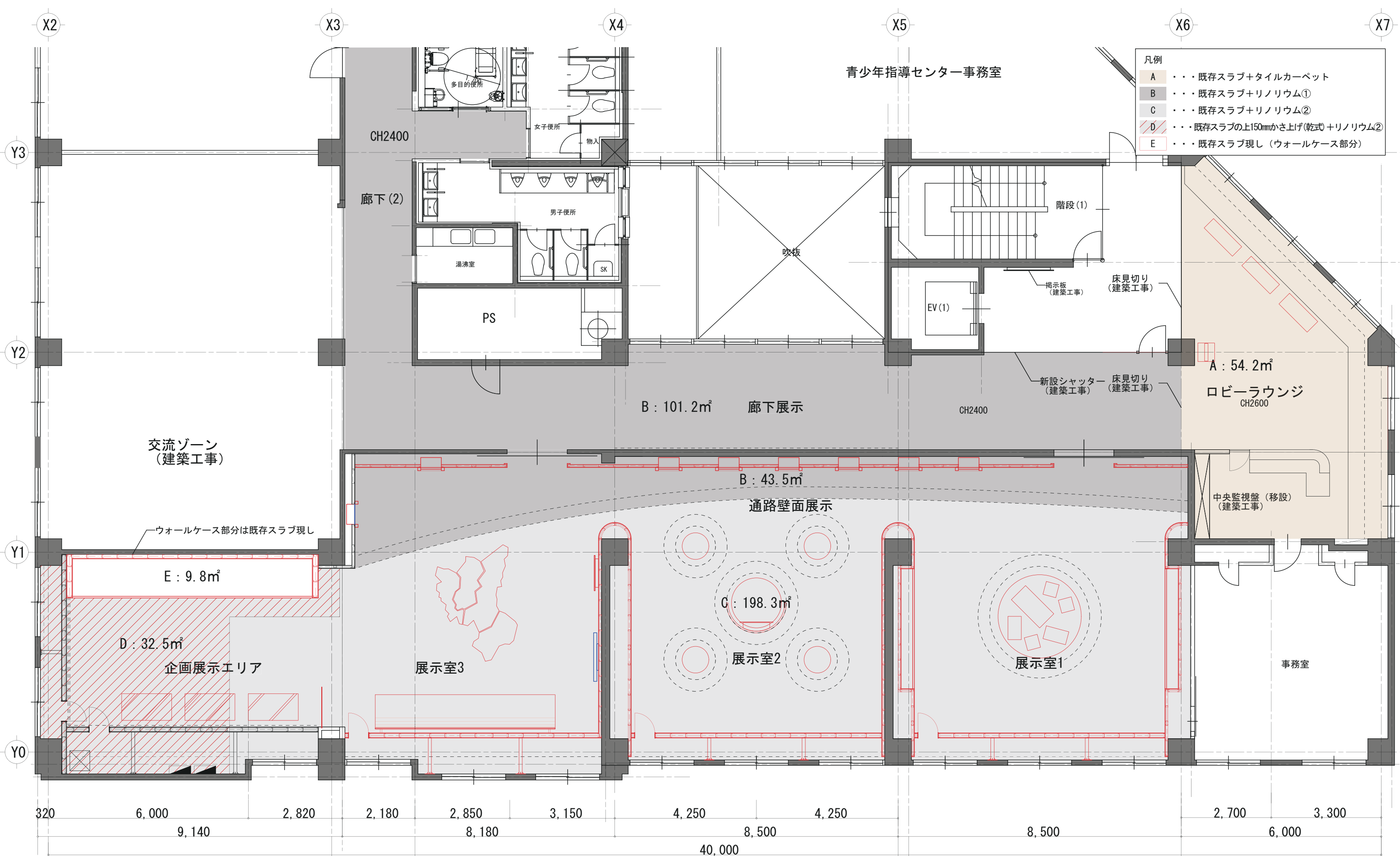
凡例

- 展示室外（オレンジ）
- 展示室内（ピンク）

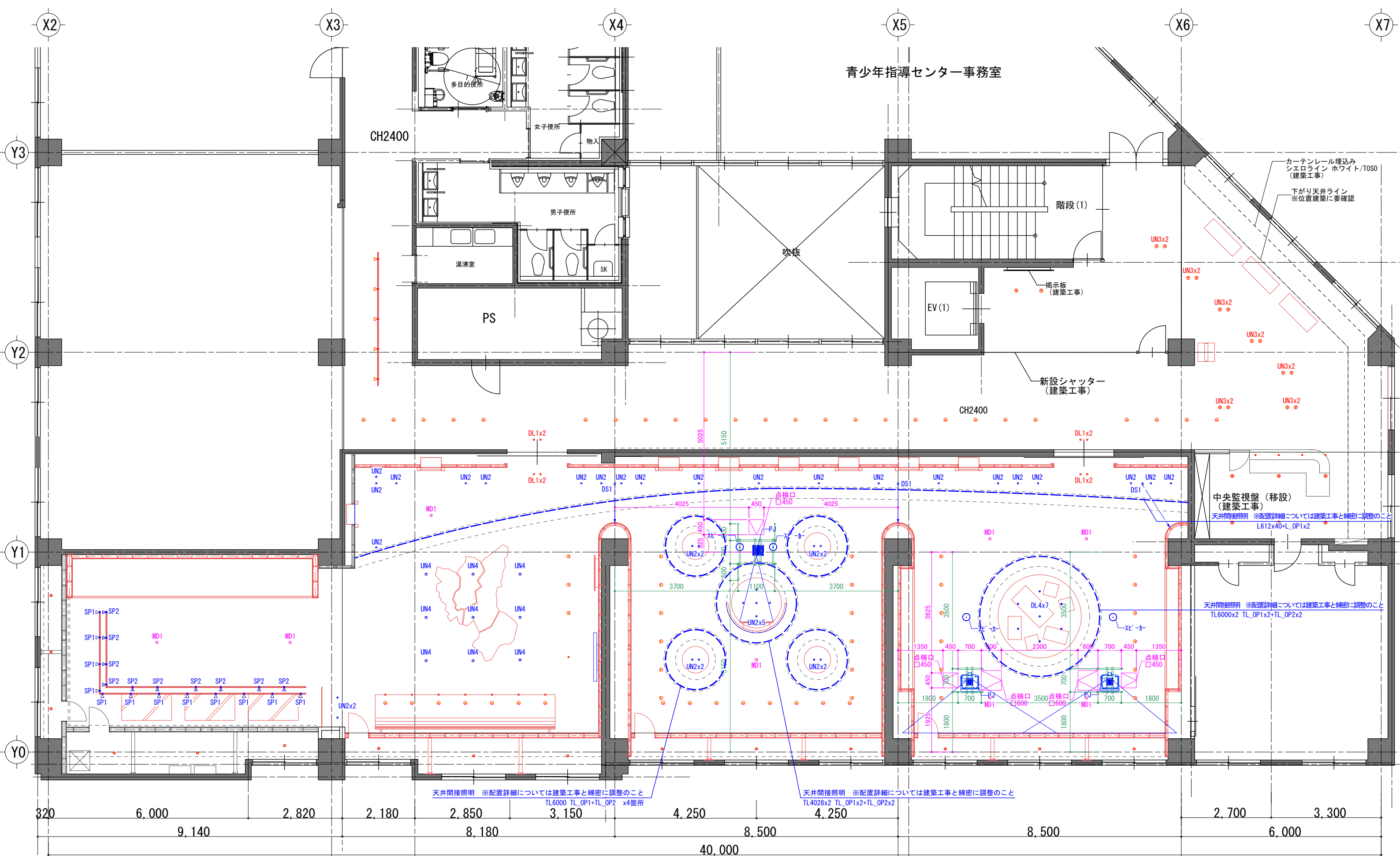
室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 17
					図面名称 2F全体平面図・動線図	整理番号	
					縮尺 S=1/200		



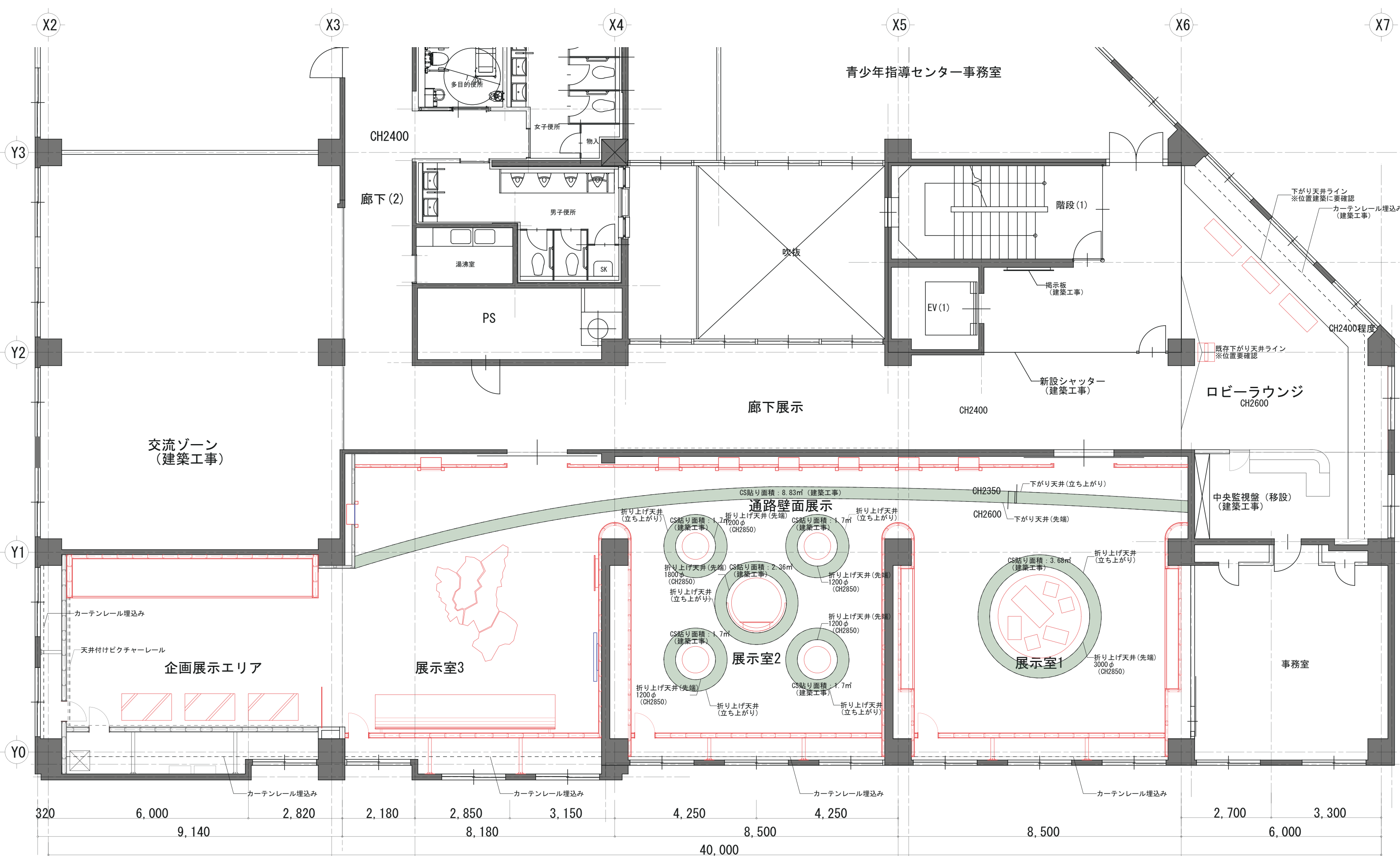
室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 18
					図面名称 2F展示エリア平面図	整理番号	
					縮尺 S=1/100		



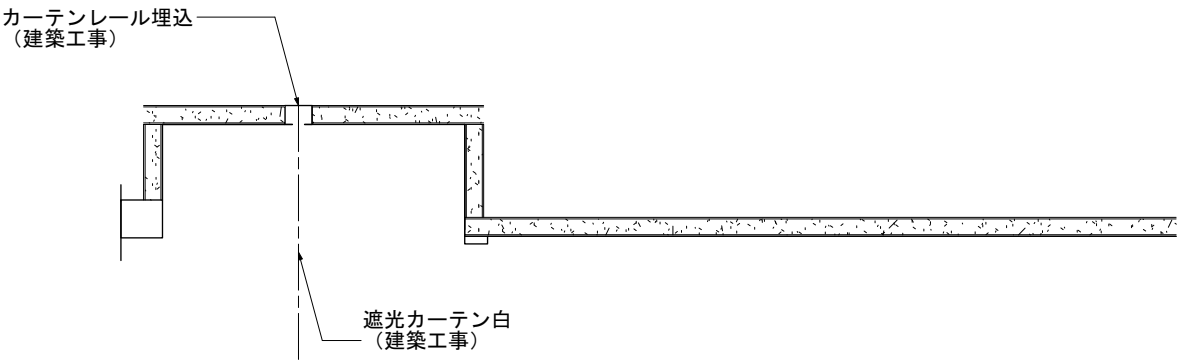
室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和 5年 10月	図面番号
					図面名称 2F展示エリア床伏図 (建築工事参考図)	整理番号	20
					縮尺 S=1/100		



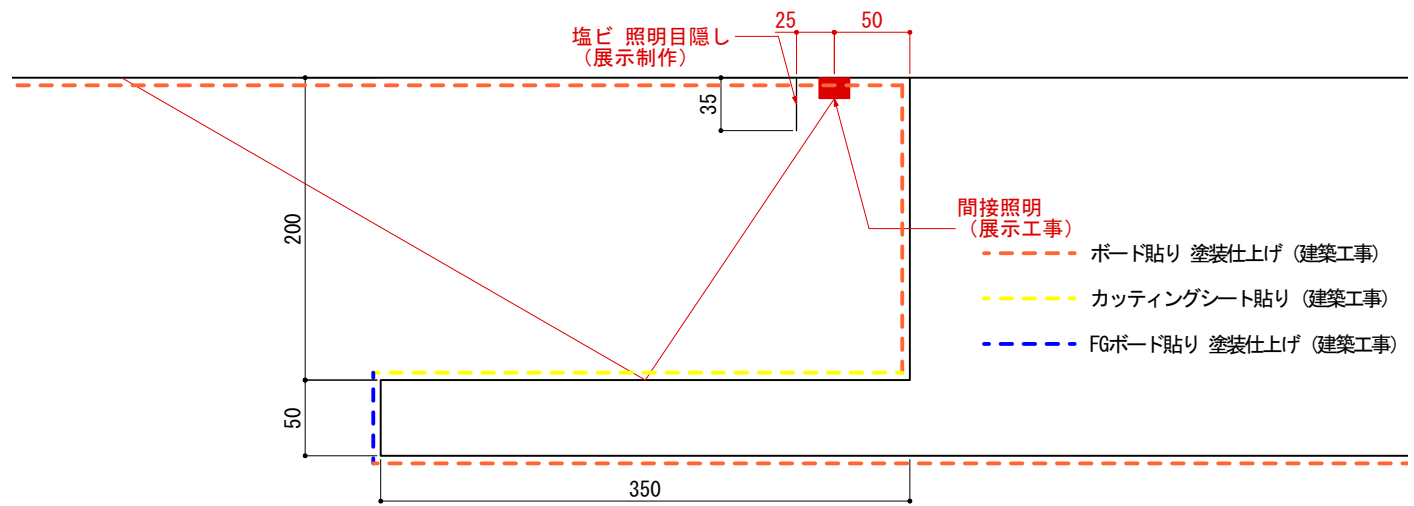
室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 21
					図面名称 2F展示エリア総合天伏図	整理番号	
					縮尺 S=1/100		



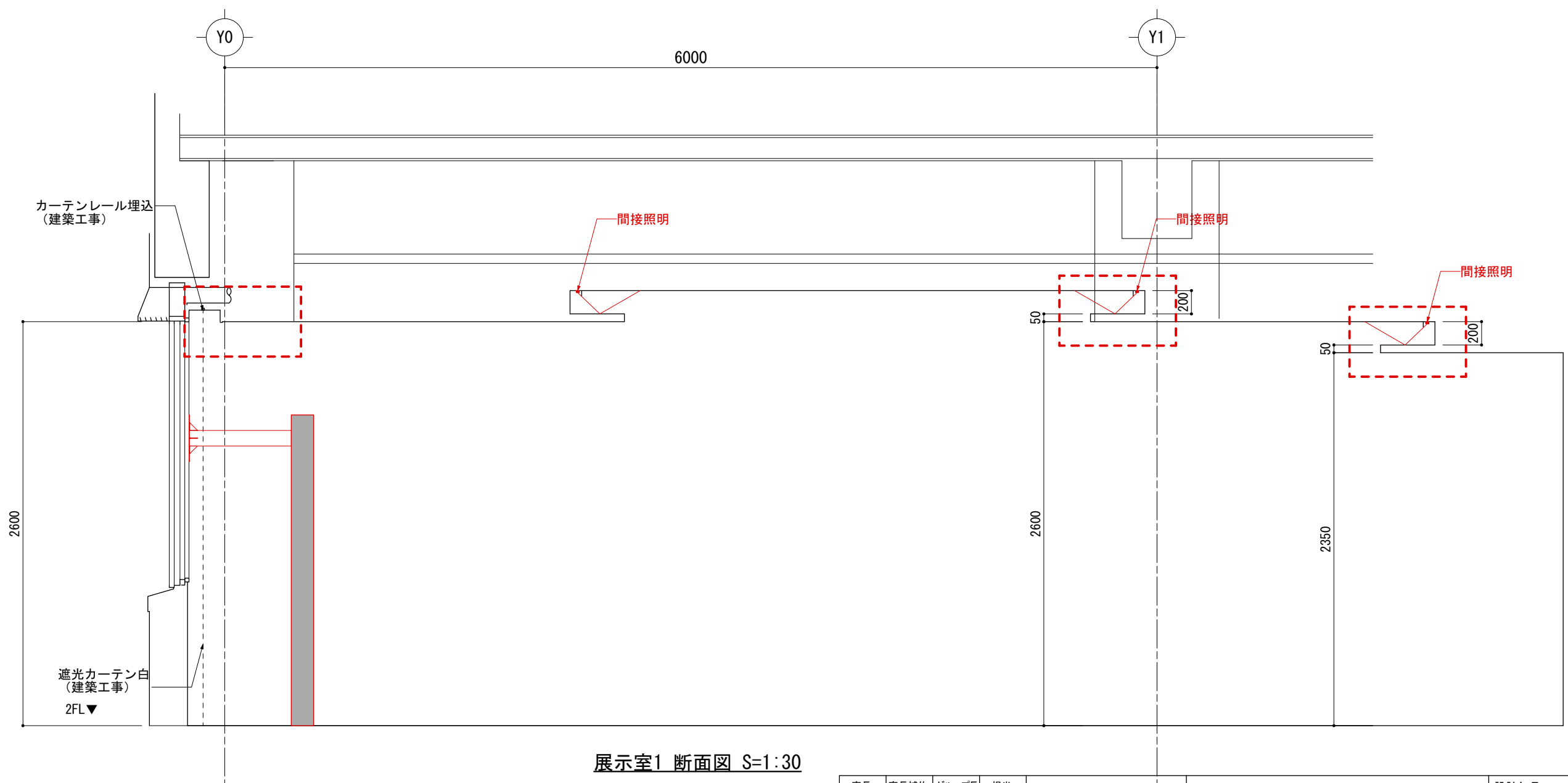
室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 22
					図面名称 2F展示エリア天伏図 (折り上げ天井・下がり天井)	整理番号	
					縮尺 S=1/100		



展示室1 窓際天井部分詳細 S=1:5

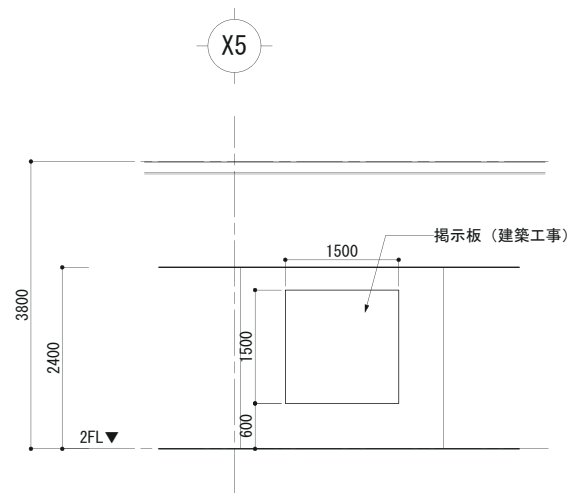


下がり天井・折り上げ天井部分詳細 S=1:5

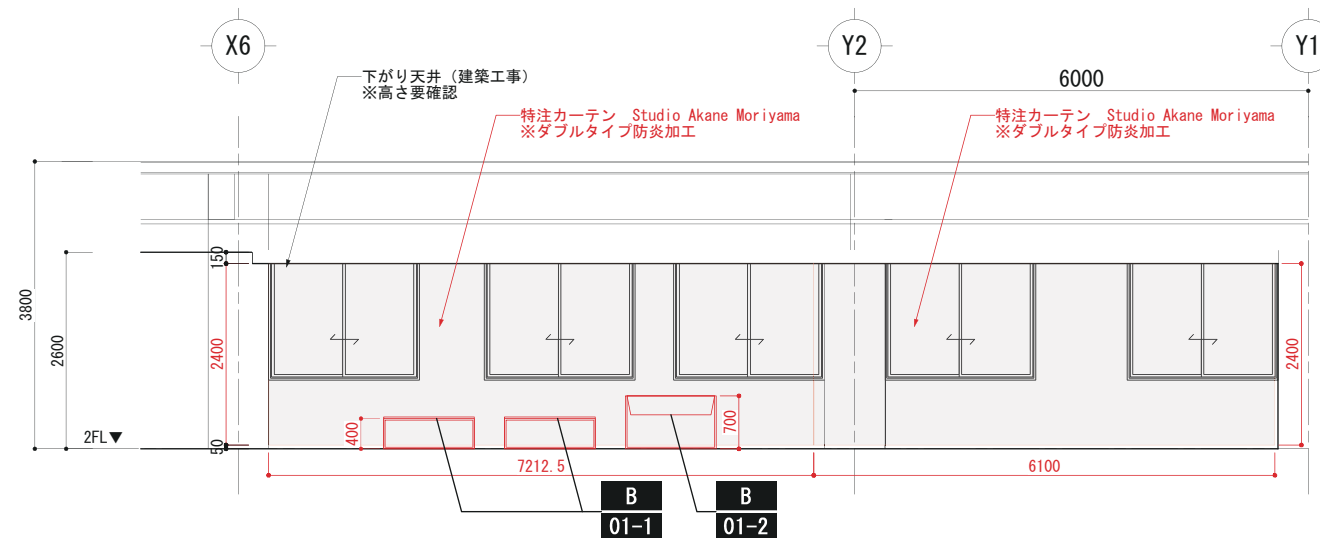


展示室1 断面図 S=1:30

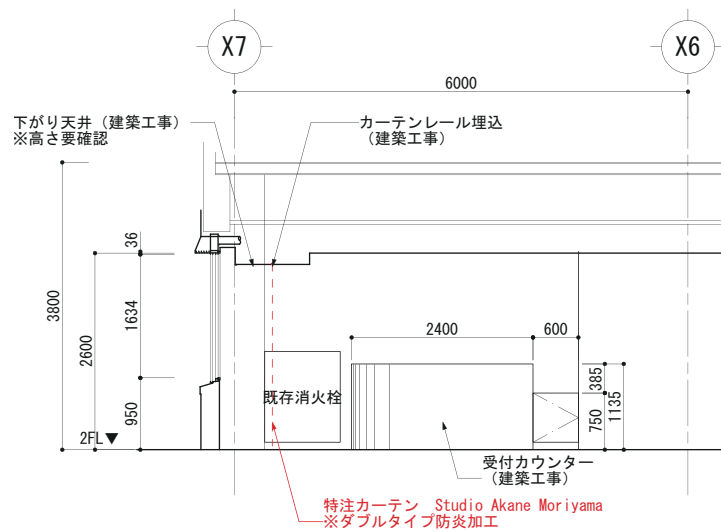
室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 23
					図面名称 2F 展示室1 断面図	整理番号	
					縮尺 S=1/30, 1/5		



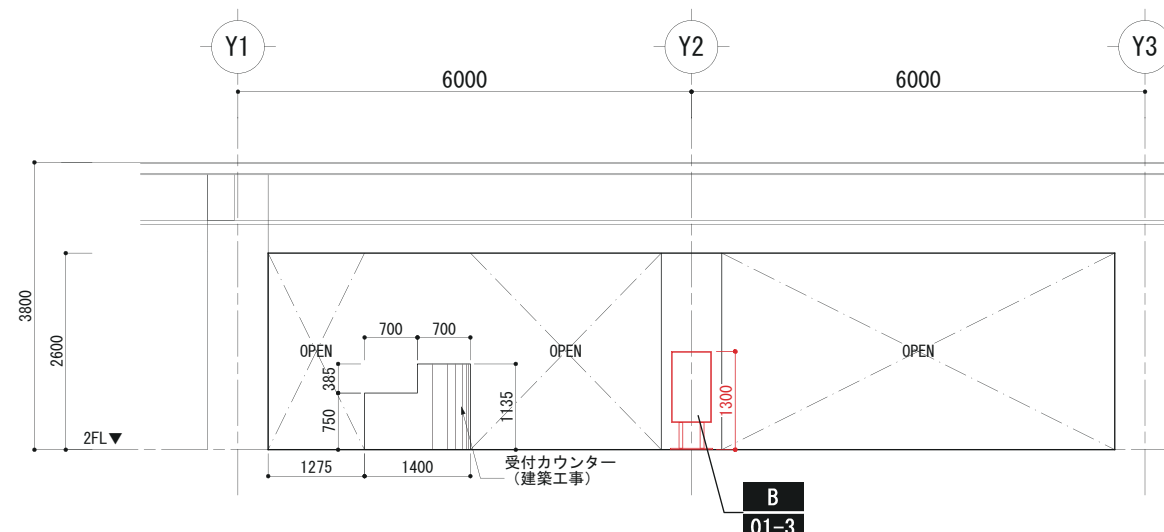
ロビーラウンジ展開図A S=1/100



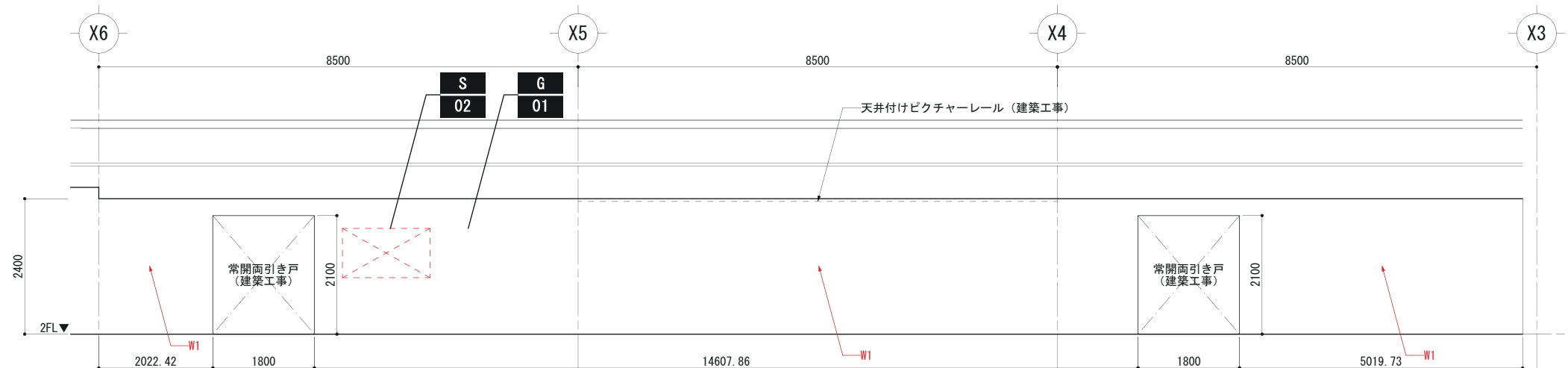
ロビーラウンジ展開図B S=1/100



ロビーラウンジ展開図C S=1/100

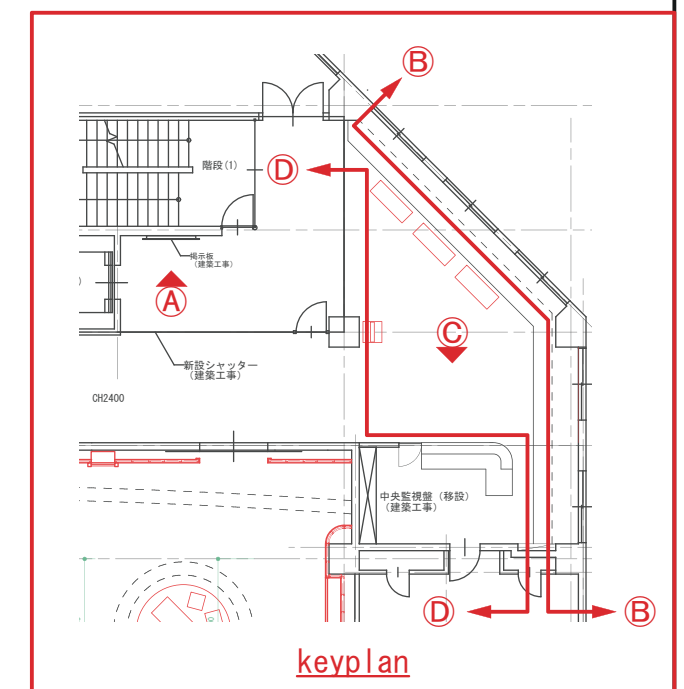


ロビーラウンジ展開図D S=1/100

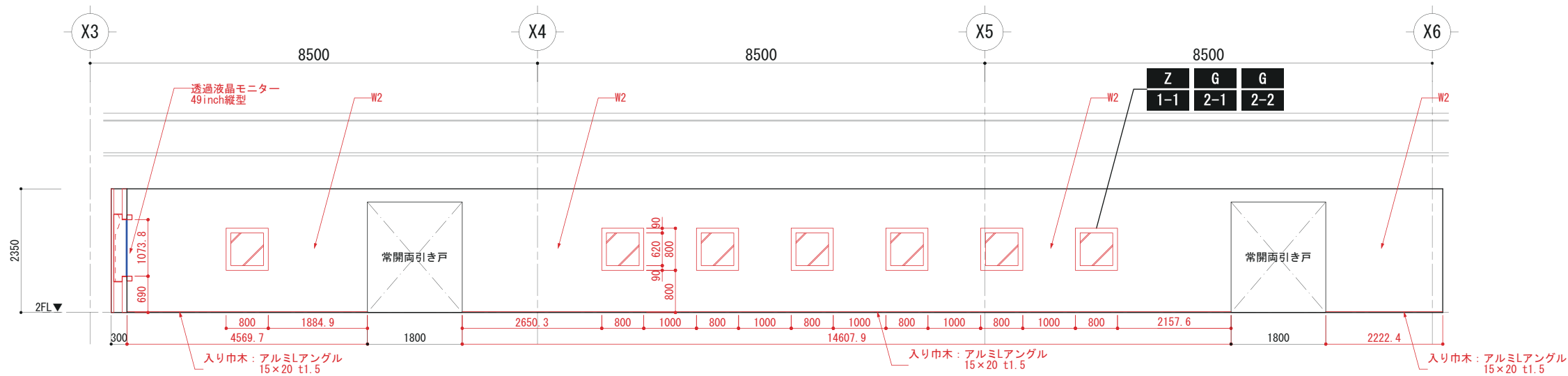


廊下展示 展開図C S=1/100

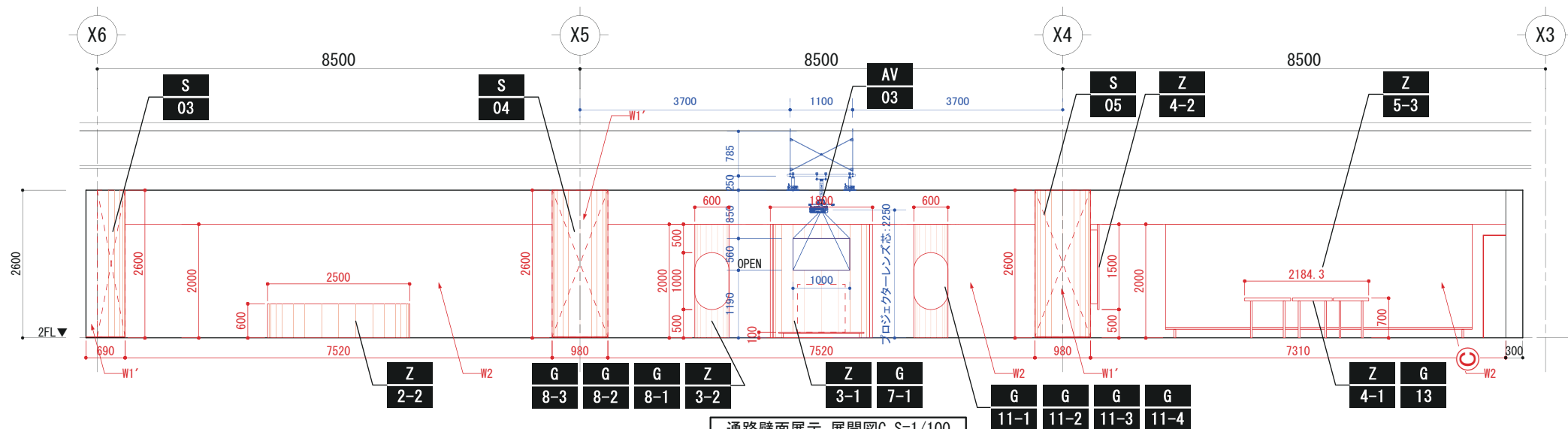
壁仕上げ凡例	
W1	下地：PB12.5+12.5 仕上げ：グラフィッククロス出力貼り
W1'	下地：F6ボード 仕上げ：グラフィッククロス出力貼り
W2	下地：PB12.5+12.5 仕上げ：クロス貼り



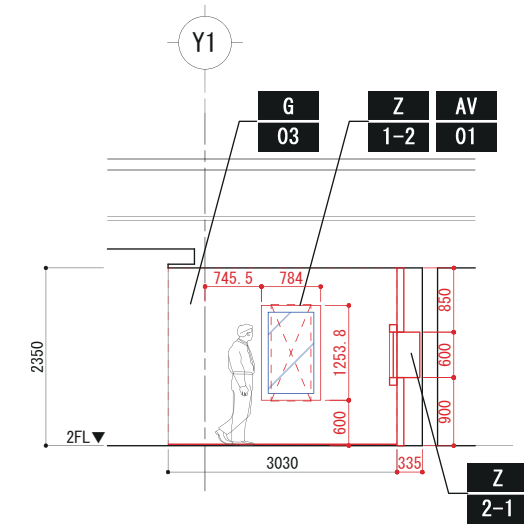
室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 24
					図面名称 2F 展開図1	整理番号	
					縮尺 S=1/100		



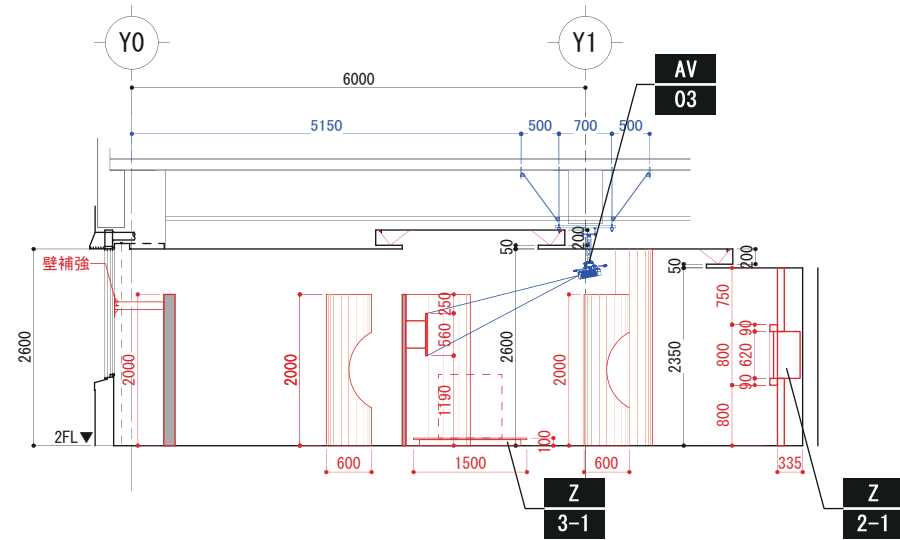
通路壁面展示 展開図A S=1/100



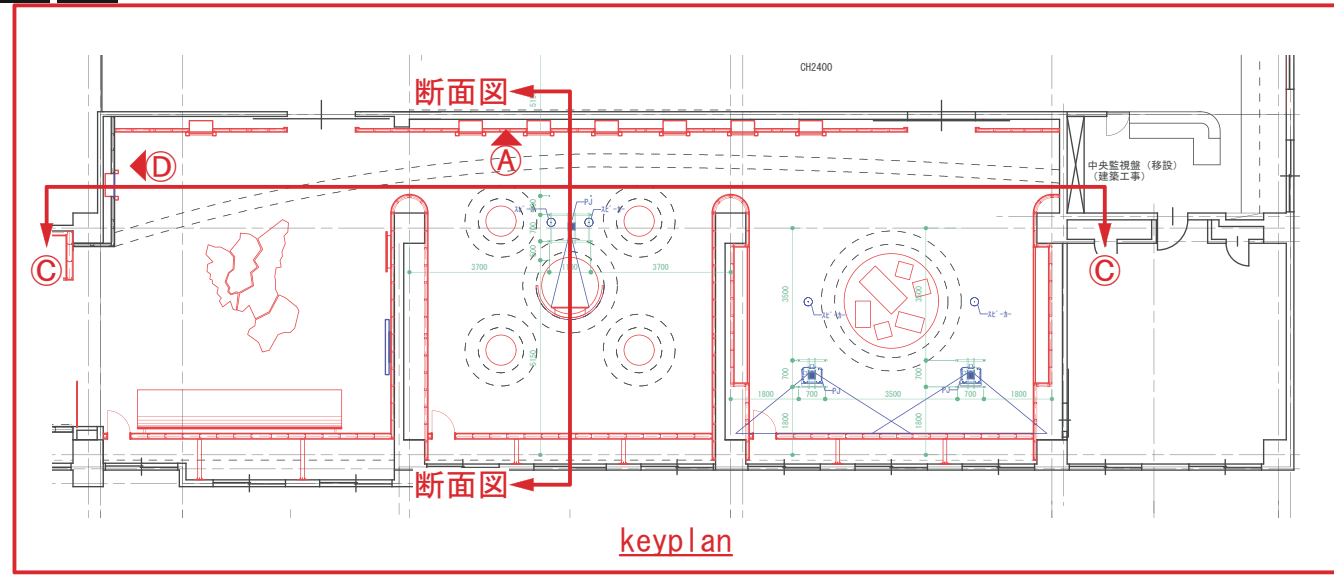
通路壁面展示 展開図C S=1/100



通路壁面展示 展開図D S=1/100

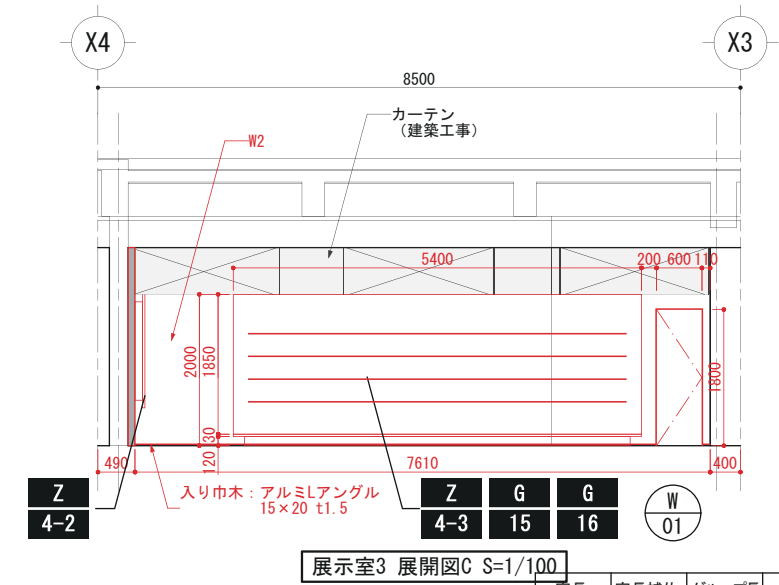
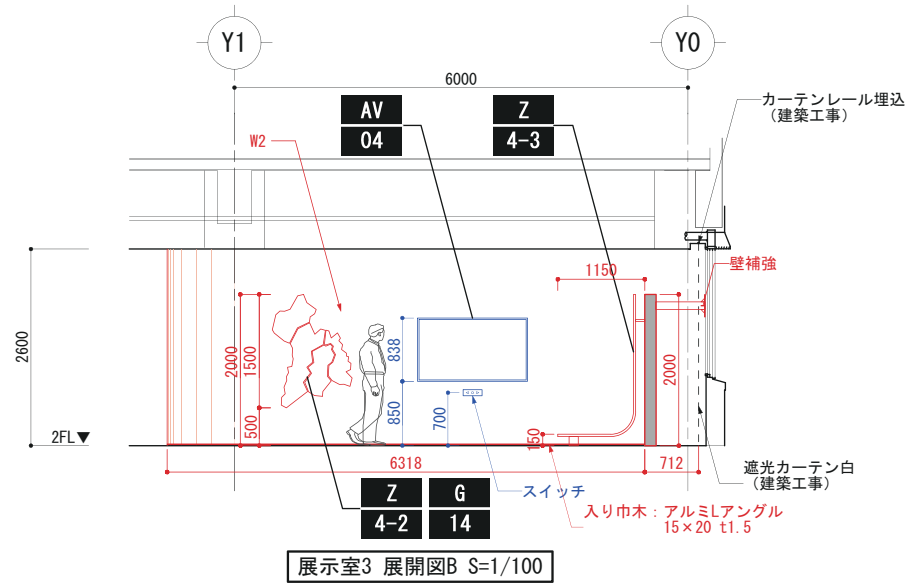
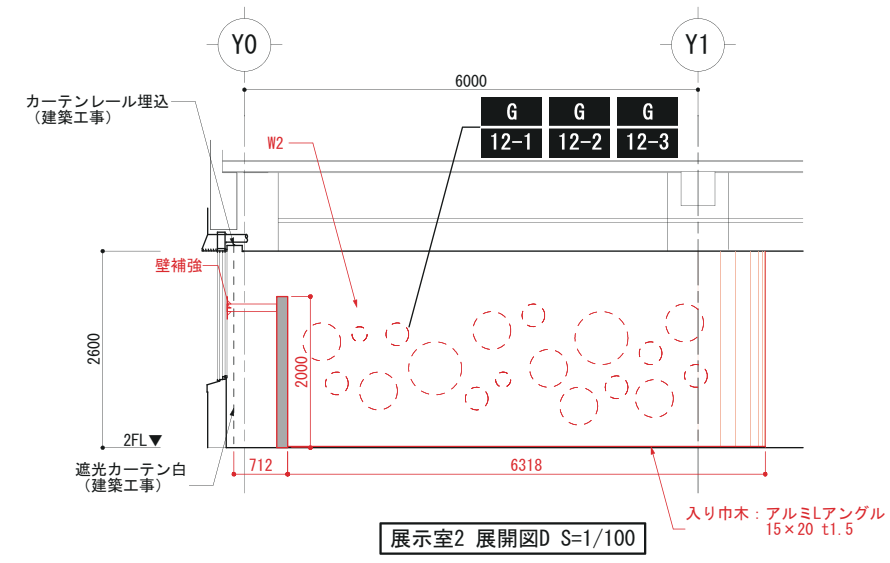
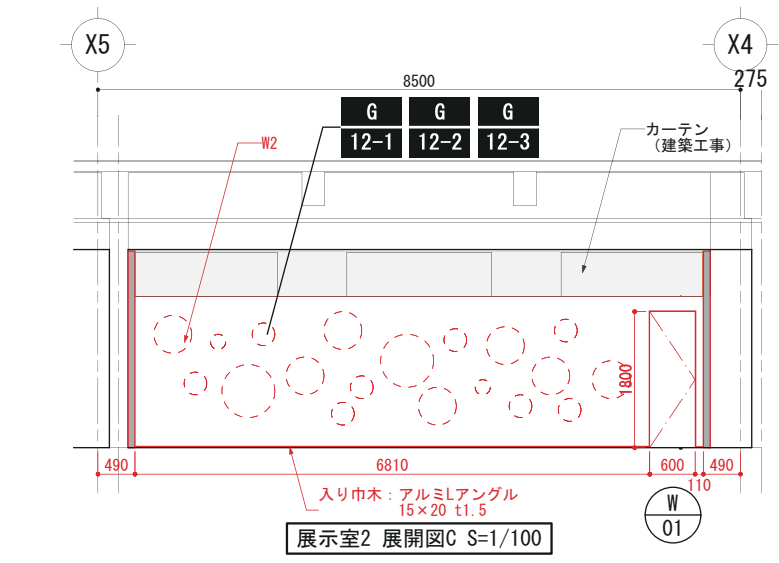
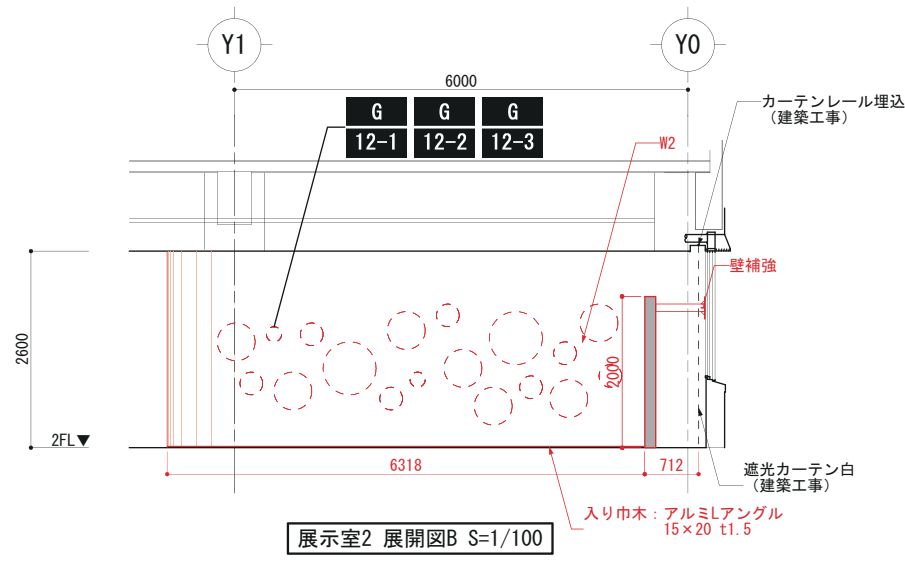
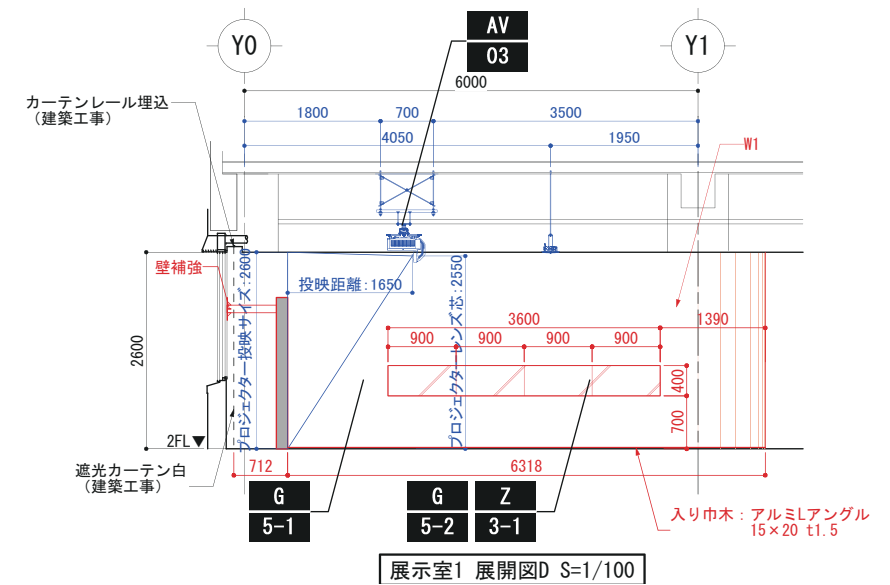
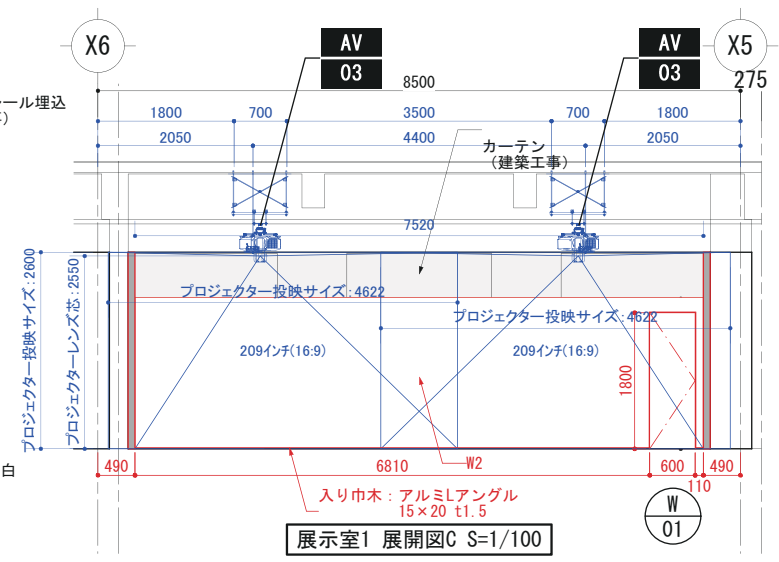
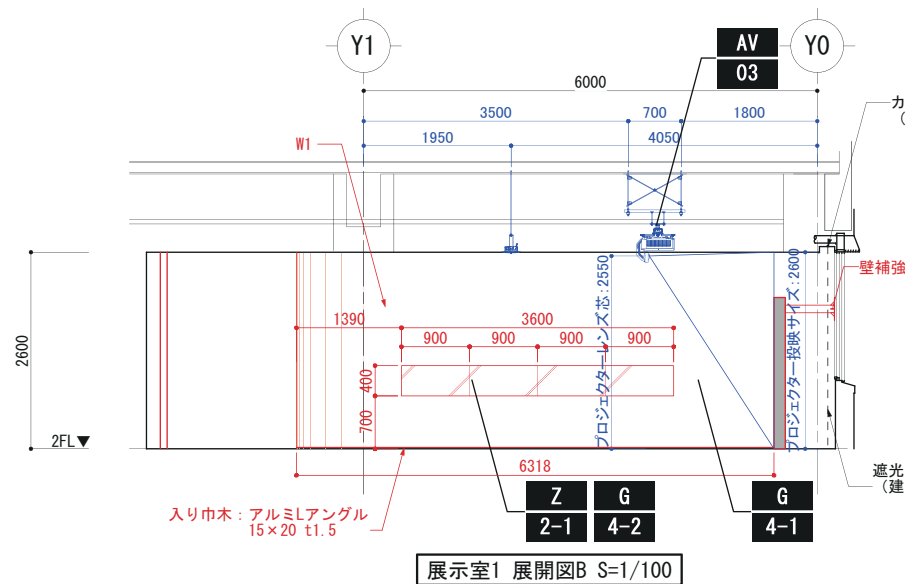


展示室2 断面図 S=1/100



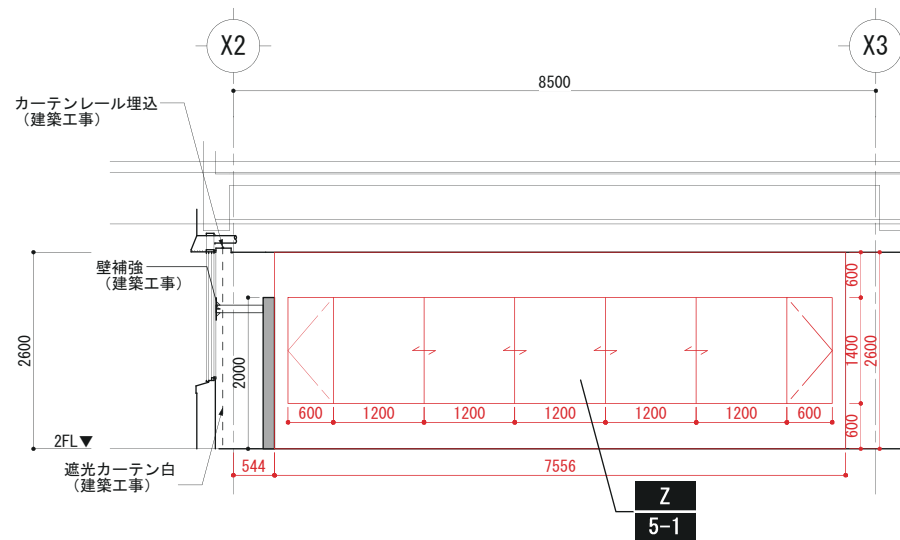
壁仕上げ凡例	
W1	下地: PB12. 5+12. 5 仕上げ: グラフィッククロス出力貼り
W1'	下地: F6ボード 仕上げ: グラフィッククロス出力貼り
W2	下地: PB12. 5+12. 5 仕上げ: クロス貼り

室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 25
					図面名称 2F 展開図2	整理番号	
					縮尺 S=1/100		

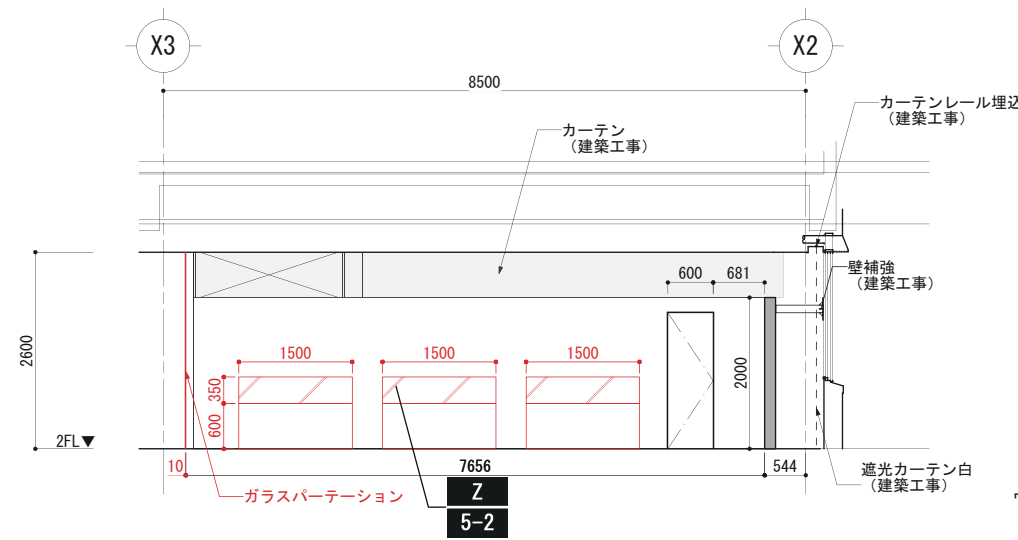


壁仕上げ凡例	
W1	下地: PB12. 5+12. 5 仕上げ: グラフィッククロス出力貼り
W1'	下地: FGボード 仕上げ: グラフィッククロス出力貼り
W2	下地: PB12. 5+12. 5 仕上げ: クロス貼り

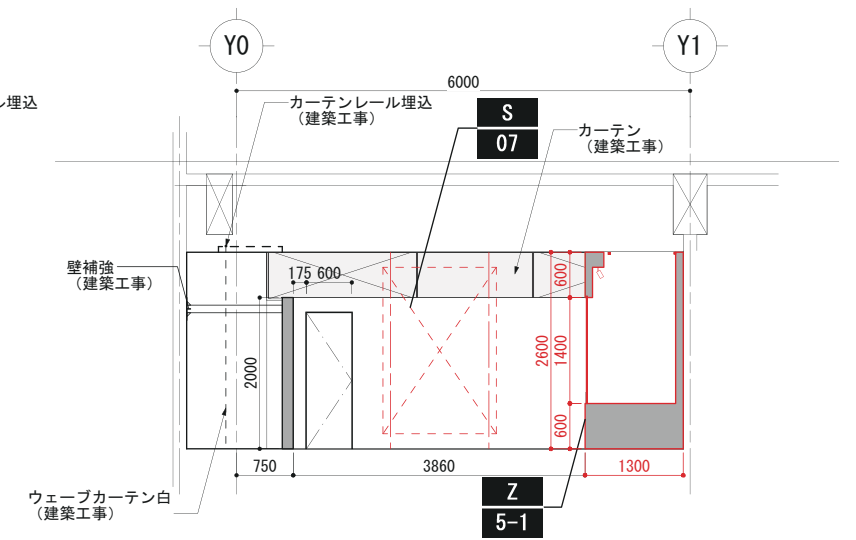
室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 26
					図面名称 2F 展開図3	整理番号	
					縮尺 S=1/100		



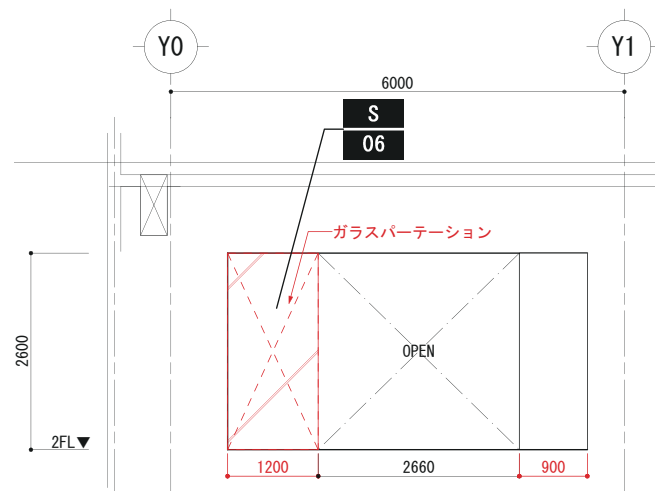
企画展示室 展開図A S=1/100



企画展示室 展開図C S=1/100

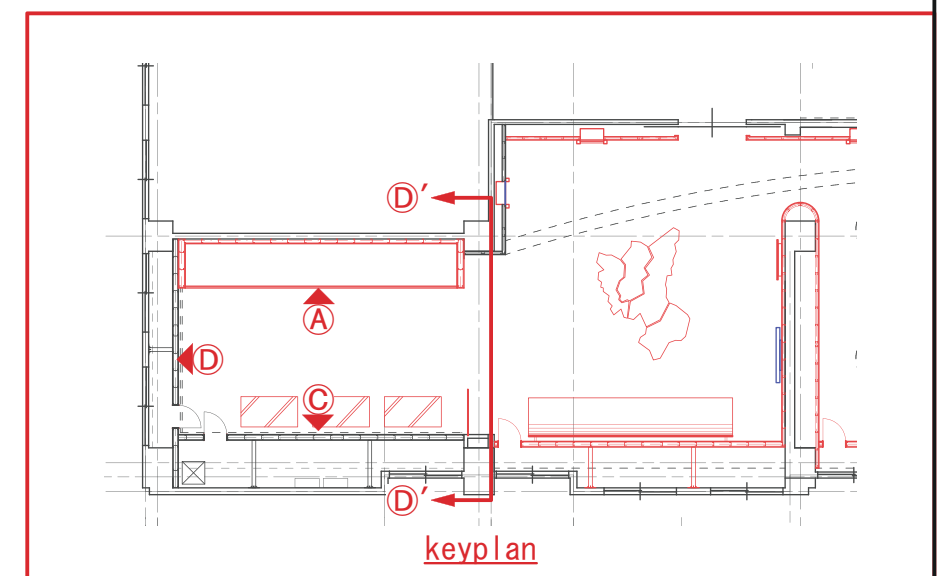


企画展示室 展開図D S=1/100

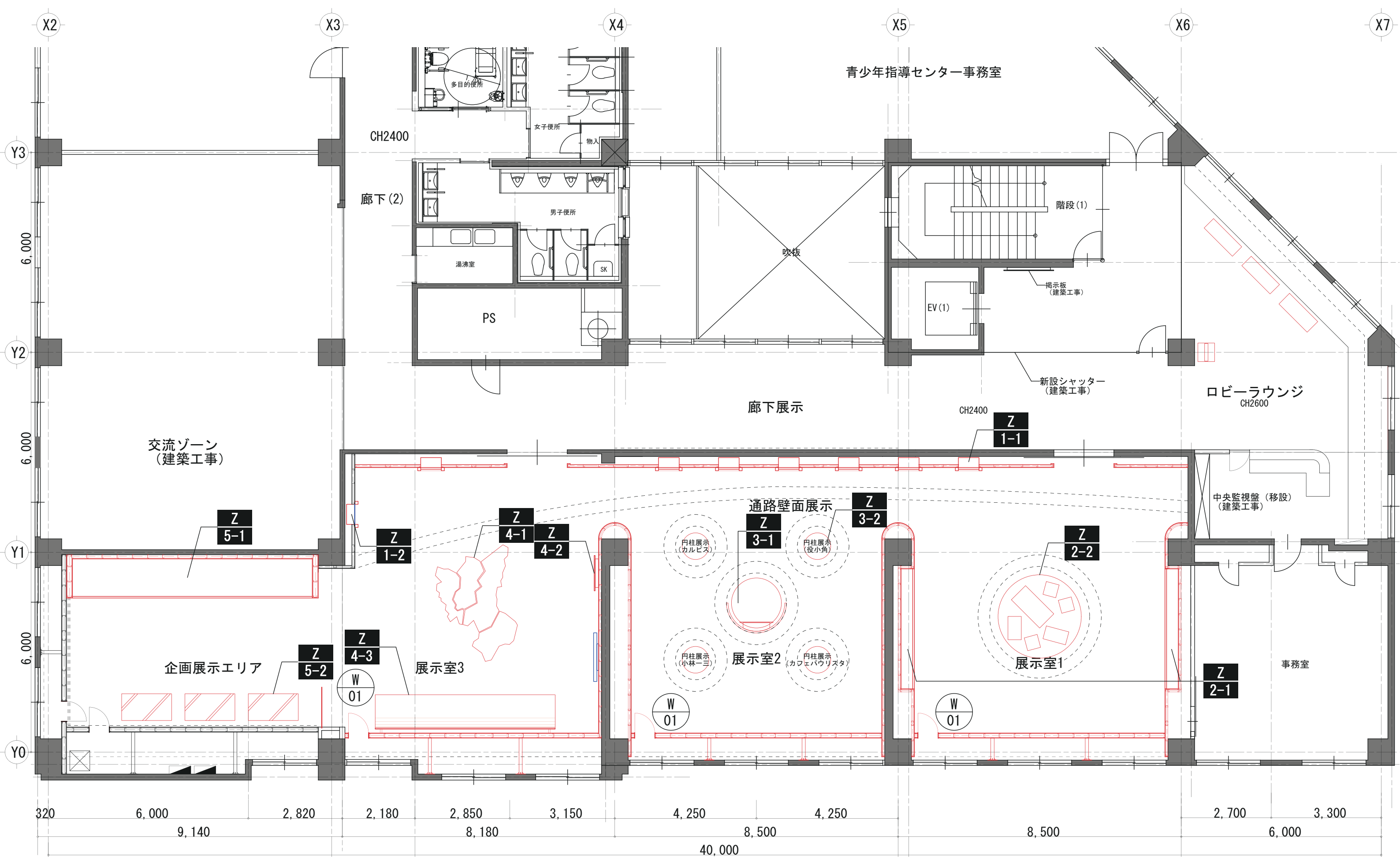


企画展示室 展開図D' S=1/100

壁仕上げ凡例	
W1	下地：PB12.5+12.5 仕上げ：グラフィッククロス出力貼り
W1'	下地：FGボード 仕上げ：グラフィッククロス出力貼り
W2	下地：PB12.5+12.5 仕上げ：クロス貼り



室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 27
					図面名称 2F 展開図4	整理番号	
					縮尺 S=1/100		



室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 28
					図面名称 造作・建具プロット図	整理番号	
					縮尺 S=1/100		

Z 1-1	通路壁面展示 額装展示	7 台	Z 1-2	通路壁面展示 みのお時空遊覧	1 台		
Z 2-1	展示室1 壁面展示ケース	2 カ所	Z 2-2	展示室1 島展示ケース	1 台		
室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和 5年 10月	図面番号
					図面名称 造作図01	整理番号	29
					縮尺 S=1/20		

Z 3-1	展示室2 富くじ展示	1 台	Z 3-2-1	展示室2 円柱展示 役小角	1 台																								
Z 3-2-2	展示室2 円柱展示 カフェパウリスタ	1 台	Z 3-2-3	展示室2 円柱展示 カルピス	1 台																								
<table><tr><td>室長</td><td>室長補佐</td><td>グループ長</td><td>担当</td><td>箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室</td><td>工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)</td><td>設計年月 令和 5年 10月</td><td>図面番号 30</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>図面名称 造作図02</td><td>整理番号</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>縮尺 S=1/20</td><td></td><td></td></tr></table>			室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 30						図面名称 造作図02	整理番号							縮尺 S=1/20					
室長	室長補佐	グループ長	担当	箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局文化国際室	工事名称 第二別館郷土資料館 (展示制作委託業務)	設計年月 令和 5年 10月	図面番号 30																						
					図面名称 造作図02	整理番号																							
					縮尺 S=1/20																								